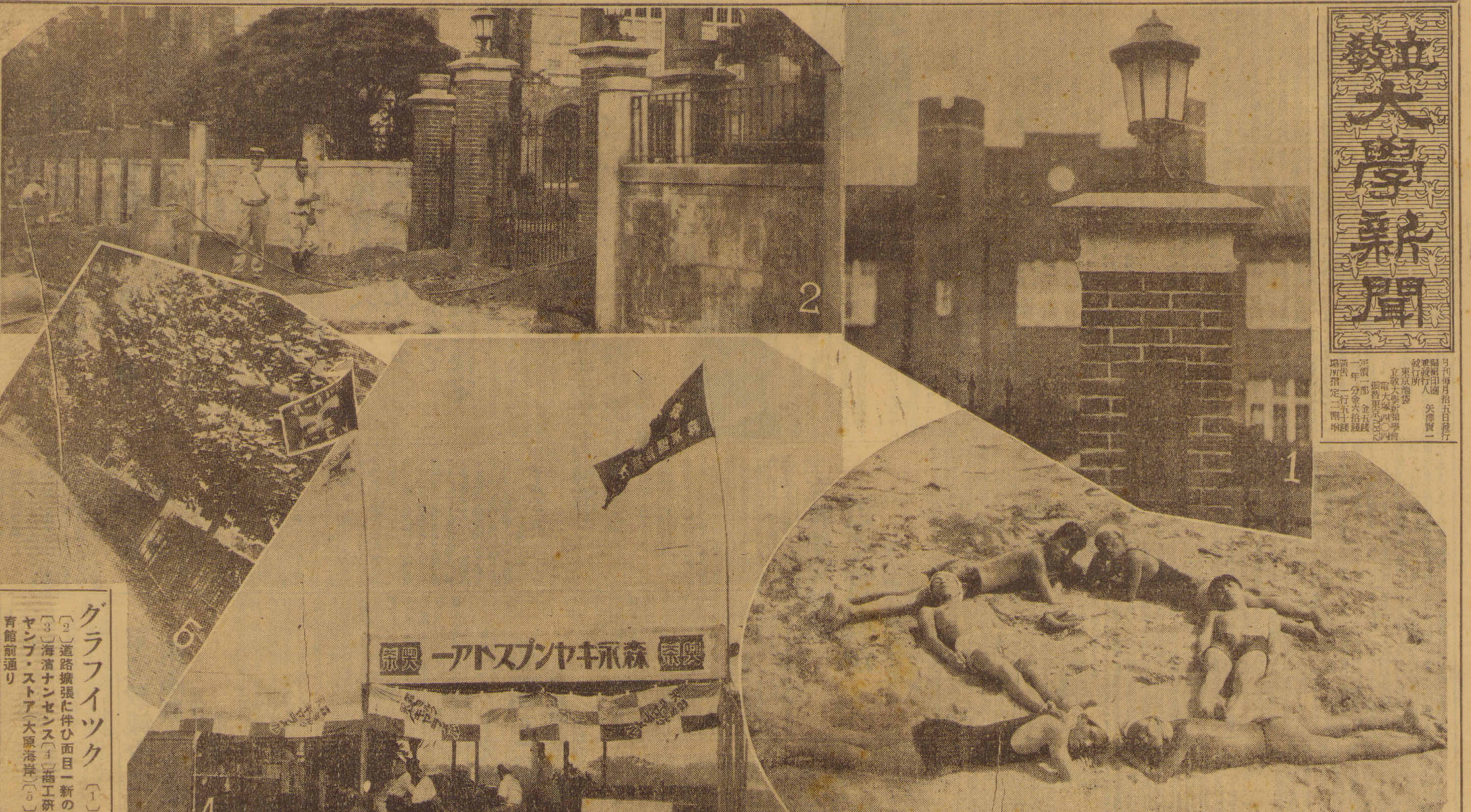
立教大學新聞

月刊毎月拾五日發行
編輯印刷兼發行人　矢澤賢一
發行所　東京池袋　立教大學新聞學會
電大塚四〇四
振替東京70852
定價一部　金五錢
一年分金六拾錢
廣告一行五十錢
場所指定二割增



グラフイック　（1）本學正門（2）道路擴張に伴ひ面目一新の正門通り（3）海濱ナンセンス（4）商工研究會のキヤンプ・ストア（大原海岸）（5）新裝の體育館前通り

新着洋書案内

Alford.—Handbuch für Industrielle Werkleitung. '30.	32.50
Angas.—Investment. '30.	10.00
Bernahrd.—Philosophische und naturwissenschaftliche Grundlagen der Psychologie. '30.	4.00
Church.—The Proper Distribution of Expense Burden.	4.00
Cole.—The Next Ten Years in British Social and Economic Policy. '30.	7.50
Die agrarischen Umwälzungen im Auss-russischen Osteuropa. Hrsg. von Sering. '30.	12.50
Everyman at War. Sixty Personal Narratives of the War Ed. by Purdom. '30.	3.00
Frankenstein.—Internationales Privatrecht. Bd. II. '29.	14.85
Geiger.—Die Wirklichkeit der Wissenschaften und die Metaphysik. '30.	5.00
Hawthrey. — Economic Aspects of Sovereignty. '30.	4.50
Jamieson.—Chinese Family and Commercial Law.	6.00
Kant & Herder. Als Deuter der Geistigen Welt. Von Litt. '30.	5.00
Keen.—Woman and Marriage in Modern England.	.75
Kisch & Elkin.—Central Banks. '30.	9.00
Labour Year Book 1930.	2.75
Langer.—The Franco-Russian Alliance 1890-1894. '29.	9.90
Lee & Chin.—Village Families in the Vicinity of Peiping. '29.	.60
ORGANISATIONS-LEXIKON Kurzgefasstes Auskunftswerk für die gesamte Betriebsorganisation Hrsg. von Dr. W. le Coutre Preis	¥ 13.25
Lefebvre, et autre.—La Révolution Française. '30.	6.00
Lindsay.—The Essentials of Democracy. '30.	1.75
Manheim.—Zur Logik des Konkreten Begriffs. '30.	4.00
Manly & Rickert. — Contemporary American Literature. '29.	4.50
Morgan & Flick.—Civic and Industry. '30.	4.00
Nobel.—Indien. (Technisch-Wirtschaftliche Auslandsführer.) '30.	4.75
Ponsonby.—Falsehood in War-Time. '30.	1.25
Richmond.—Naval Warfare. '30.	2.50
Richter.—Filmgegner von Heute- Filmfreunde von Morgen. '29.	3.75
Schütz.—Japan (Technisch-Wirtschaftliche Auslandsführer) '30.	5.75
Sinner. — Brasilien. (Technisch-Wirtschaftliche Auslandsführer) '30.	5.75
Starch.—Experiments and Exercises in Educational Psychology. '30.	3.60
Strakosch.—Das Agrarproblem im neuen Europa. '30.	12.00
Stutterheim. — Pictorial History of Civilization in Java.	5.00
Wahl.—Die Deutschen Länder in der Aussenpolitik. '30.	6.40
Witkop.—Volk und Erde. '29.	2.40
Wohnung für das Existenzminimum. '30.	3.75
Wolff.—Die Rechtsgrundlagen der internationalen Kartelle. '29.	6.00

（送料は別に申受けます）

前日本聖公會教務院文書局長　立大教授
長老　貫民之助著

信仰指針

三六版百七十余頁
總フリカナ付
特價金十五錢

忽八版

世界の宗教の集まる日本！　神佛展覧會場の日本！　玉石混淆の靈的日本！　信迎洗練ルツボの日本！　本書は其眞僞撰擇の好指針であつて信者、未信者、求道者何れにても向く通俗的宗教讀本である

內容目次

一、**祈禱を聽き給ふ神**　祈る心は誰にもある……祈禱は宗教の發露……相談相手……祈禱を聽く神は何處……お天とう樣……印度の神々……佛陀と菩薩……佛教の祈禱……神社の神……祖先は甚だ御迷惑……眞に祈禱を聽く神……神を知るとは如何なる事か……神を知る法……イエスキリスト……神は奇跡の神……神の心がわかる……眞の祈禱……常に神に語る

二、**罪を贖ひ給ふキリスト**　自然の美……人間の醜……自由意志……人は生れた自由……自轉と公轉……罪の生ずる所以……人は皆罪人……自分は自分で保證は出來ぬ……是吾愛世……人は罪より脱し得るか……罪惡の責任如何……佛教の斷惑……成佛の思想……他力往生の思想……神道の禊祓……理屈や氣休めで無き救の事實……人を救ふ神の計劃……救濟救罪は贖罪による……キリストの十字架……神の愛……贖はれし者の生活

三、**永遠に到らしむる神の恩惠**　人生の寂寞不安……快樂でまぎらす……死の問題……あきらめて滿足するか……極樂淨土の理想……無我の思想……別の事實……試錬の世……永生に至る確實な方法……理契……悔改と信仰……神に招かれた者……聖靈の恩賜……神の絶えざる恩惠……教會生活と天國……來世と復活

附錄、**求道十則**　効能だけ見てはならぬ……他人事では無い……方便では無い……強がりと刎錨……贅澤な要求……『惡人が教會に居る』……基督教と國家……教派の問題……根本問題に對する疑問……信教の最大要件

永遠に輝くべき宗教詩集

高瀬恒德著

最新刊

黎明の默禱

四六版極上
コットン紙
二二〇頁
天金・美裝
納ザラメ織
泰西名畫
挿込・藝術的合
表裝
定價
壹圓四十錢

第二の山村暮鳥を見よ！明治大正の詩壇を震憾せし情熱詩人、感覺派の先覺者暮鳥はさながら流星の如くに逝いた。暗夜の大空に瞬間ではあつたが、美しく曳いた光芒を眺めて、空しく彼の名を呼びし親友のいかに多かりしことよ。されど今へ彼は復活した。彼は昭和の詩人高瀬となつて再びその詩壇に其の多感な姿を現した。著者は暮鳥と同窓で彼と其の職を同じくし又彼の如く先天的詩人であり彼と友情いとも濃まやかなりし詩の弟である。彼が中央詩壇に燦として巨星の如く輝いてゐた頃、著者はつゝましくも祭壇にひざまずいてゐた。彼が華かに幾十萬の詩友に歡ひかけてゐた時之は人の子イエスにのみ秘かに讃歌を奉つてゐたのであつた。然し時が來た、遂に立つべき時が來た、遂に立つべきときが來た。そして處女詩集「黎明の默禱」は產れた。十字架をバックとし、立ち昇る煙と花の雫と人の匂ひとの裡にその產聲をあげたのであつた。見よ何と人間味の豊なことか。恰度白孔雀の様に端麗な、だが然し駒鳥の様に可憐な、そして又小雀の様なポピュラーに呼びかけてゐることよ、これこそ眞に藝術と宗教とが渾然と溶け合つた實生活のマーテなのだ。謙讓な聲で歌つてゐる、あの純情な小夜樂風の小曲が聞えないのか。收むる秀逸九十二篇、皆深夜の星の様にまたゝいてゐる。

牛津大學教授
神學博士　アーヌ・エル・オツトレー著
岩井順一郎譯

最新刊

イスラエル宗教史

キリストは新約に依つて知られ新約は舊約にて生ずる、そうして舊約を一貫するイスラエル宗教史こそは實に世界宗教上の明星として永遠に輝いてゐる、若し近代的知識の光明に照して舊約聖書を研究せば吾人は益々、イスラエルの宗教史がメシヤ及び其國王及び人世哲學の秘義を解すべき黄金の鍵なることを確認するだらう

四六版四百頁
定價一圓五十錢
送料金十二錢

神學博士　稻垣陽一郎著

最新刊

心の晴雨

心の諸相に對する著書最近の思想十六編を集めたもので何れも簡潔にして熱と力に滿ち複雜なる心持の解剖、明暗鏡に映する心理狀態の描寫を微細に穿つてゐる、實に本書こそは變轉極りなき心界氣象を測る絶好のバロメーターである

內容目次　一、心の更新　二、心の動き　三、心を映す鏡　四、心の戸　五、心の惑　六、心の倉　七、心の帶　八、心の錨　九、心の彈機　十、心の悲　十一、心の喜　十二、心の懼　十三、心の諸相　十四、心の甘味　十五、心にて主を仰げ

菊版布製
定價　金九十錢
送料　金六錢

長老　前川眞二郎著

最新刊

絶大なる人格

目次　一、基督の偉大なる意義　二、基督の意義ある受難　三、基督の威力ある復活　四、基督の神聖なる證跡　五、基督の神聖なる降誕　六、インカーネーション　七、崇高偉大なる基督　八、道なる基督　九、眞理なる基督　十、生命なる基督

四六判美裝二二二頁・聖書入
定價金七十錢
送料金六錢

前南アフリカ・アーチディーコン
ジョージ・デー・カールトン著
立教大學教授
東京諸聖徒教會牧師　須貝止譯

最新刊

神の大路

「かしこに大路あり、そのみちは聖き道ととなへられん。これを歩む者は迷ふことなし。ただ贖はれたる者のみそこを歩まん。主に贖ひ救はれし者うた歌ひつゝ歸りてシオンに來らん」白熱の太陽輝く熱沙の國、南アフリカを其の傳祭壇として、献身傳道に寧日なく異邦の民に父と呼び親まれしカールトン師の名著ザ・キングス・ハイウエイは之を譯するに最も應はしき須貝師によりて紹介された

四六判布製・九ポイント四六四頁
定價金一圓四十錢
送料金十二錢

發賣元　東京市麻布區材木町二四　振替東京四一七四〇　**聖公會出版社**
販賣店　全國基督教書店（賣切の切は直接本社へ）

學生及保護者各位ニ謹告

一、學生の方は必ず保險に御加入下さい
それは多額の學費が皆樣の身体に掛られて居るからです

全國中等學校以上の學生が一ケ月二圓宛保險に振向けて一種の利殖に務めたら國家の利益は莫大な物です

昨年度の內閣の統計に由れば百八十九万三千六百四十一人ですから月額三百七十八万七千二百八十二圓になります、年額にすれば四千五百四十四万七千三百八十四圓の驚ろく可き數字になります、これを保險料に換算すれば十八億九千萬圓の契約高となります、保護者各位におかれても十分研究の上保險に御加入を御推奬申上げます

一、撰ぶべき保險種類
樂に掛けられて青少年に特に有利な特種養老保險がありますから案內書御一覽の上切に御加入を希望いたします

一、保險三德
月二圓が千圓に
- 萬一に備へて親を助け
- 學費の浪費を防ぎ
- 家庭の幸福の礎となる

丸の内
常磐生命保險會社

六課制施かれて
職制整理に一段落
學生課・衛生課新設されて
統轄行政に新味を加ふ

昨春來學內組織整理に學長自らその衝に當り考慮を加へてゐた所漸く今春成案を得去る六月下旬の常例幹部會に提案一部訂正の外學長案を承認新學期より直に實施する事に決定を見るに至つた、これは從來の教務、會計、學監等の機關はいまだ今日に至らない時代に制定されたもので職務に統率にかく年々隆盛を見るに至つては到底舊態をもつて處する事の困難、不便等から組織整理に若干實現を見たのであつて新制によると **教務、庶務、會計、學生、學生人事、衛生、の六課制** の下に統かつされる、教務課においては學部主任に石谷氏、豫科主任に松本氏、教務課長に須藤氏を備へ、庶務課長、會計課長には矢澤氏就任これに屬する書記および助手は人員を增加して補ふはずで教務、庶務、會計の三課は從前實際の事務に屬する職係上 **須藤氏が事務長としてこの三課を統卒する、** 又學生主事課長に岩佐氏學生主事に武藤、狩野兩氏、**學生人事課長に根岸氏、** 學生課員の職限を考慮し施設その他に活躍を期すため新たに設けられた衛生課には聖路加病院堀內博士を顧問に植木醫師を校醫に任命される等全く舊態を脫して面目を新たに統轄行政に新味を加へる事になつた

面目を新に陣容を整へ
學生人事課確立さる
當事者間の聯絡に重きを置いて
根岸教授課長に決定

昨秋獨立の形をもつて設立を見て以來打ち續く就職地獄に懸命な努力をはらひ來つた本學人事課は今春卒業生の

就職 斡旋に一段落を告げたので來るべき戰線準備のため新たに施かれた六課制の下に全く陣容を建てなほすに至つた、即ち從來は單に就職委員として各自各擔に活躍するに止まり就職委員と學生との聯絡上疎遠を來し遺憾の點等種々あつたがこれは組織的に統制がない事等重大な原因とされたのにかんがみ學生人事課なる名稱の下に新たに學生人事課長の

設定 を見るに至つた、多年就職斡旋に努力し盡した根岸由太郎氏の人事課長は當然な事であり就職事務全般取扱ひに專任書記の任命を見るはずで小島、木村兩學部長、事務長、學生課長、庶務課長、中屋の諸氏が委員として學生人事課の全面目を一新すはずである、因に學生間との意志

疎通 を完全ならしめるため從來の方法を一新するはもちろん既に新學期早々その方面に準備を進めしかして對外的運動へ歩みを向ける豫定である

從來の弊を一掃して
『來春を期さう』と
根岸教授の所信談

この喜びをもたらして根岸教授を自宅に訪問すると

僕が人事課長になるなんて全く初耳です何等交渉もいまだ受けてはゐない、だが例へ

課長 にならうとなるまいと學生の就職については獻身的に努力する考は少しも從來と變らない、今年は人事委員の都合から自分が主になつて會社方面に當つたため多少無理がないでもなかつたが、しかし人事課の組織化された以上は充分活躍も出來ると思ふ、長年この方面にたづさはつて來て一番遺憾にたへないと思ふ事は學生と吾々との間に非常に開きを見せてゐたことです、もちろん正面

攻撃 の外情實も欠く可からざる要項で今迄學生は重役に一ッの情實があると横取の恐れがあるといふ樣な偏見を持つて學校側にはひた隱しに隱す風があつた、其結果人事課として個人的情實に輪をかけて學生に應援し會社側に對する聯絡が欠け折角入社出來る者も思はぬ失敗を繰返した實例は非常に多い、こんな弊にかんがみて九月からチー・パーテイの樣なものを開いて吾々と學生との隔りのない

機會 を出來る丈け多く作つて意見の交換に性狀の要點等に充分の注意を持つて來春の準備とする考へである（寫眞は根岸教授）

學生監の名稱消え
學生課主事生る
學友會事務をも統轄して
學生課長に岩佐氏

六課制による職制整理の結果學生監なる名稱は廢止して學生課主事といふ名を付する事になつた、多年一種の怖れ氣と同時に親しみを持つてゐた學生監の名は來學期より學生

主事 と呼ばれるわけでこの結果現岩佐學生監は學生課長となり主事には教務中より二、三任命をみるはずである、又學友會は創立以來學友會事務は事務長の管理する所となつてゐたがこれも又新學期より學監改め學生主事の手元へ移される事に決定された、これに關して岩佐氏は語る

從來の學生監なる名が無くなり學生主事となる事は事實であるが名稱が變つたからとて別段

內容 が變るのではない、

從來通りの方針を持つて諸君に見えへる事には少しも變りは無い、從來學生の出欠席等は教務課任せであつたのを直接學生課でやる事になつたので人員を增す事も必然である、又從來の監督、統率外に學友會幹事として事務全般を見る樣になつたのは

原則 として僕等がその任に當る事となつてるのを快したまでゝ他意のあるものではない（寫眞は岩佐教授）

豫科生徒を若干名募集

本年豫科では九月に豫科一、二年生徒若干名を募集する爲に入學願書の受付を既に始してゐるが試驗課目は英語、數學、國漢の四科目でなほ口答試問があるはず、規則書は豫科教務課あての事

寄附申込者
遞增
久保田先生謝恩會の美擧

本學第一回校友の發起組織せる久保田先生謝恩會では發起人諸氏の活躍により着々實績をあげつゝある、過日各方面に趣意書を發送して贊同を求めたところ久保田富次郎先生の教授ぶり教子間に異狀な感銘を與へ好結果をもたらしてゐる、既に寄附申込者八十七名、金額三千六百九十四圓に達し豫定の金額に對するのも間もないことゝ見られてゐる、尚同會の趣旨の大要は左の如くである

思ふに久保田富次郎先生は前後四十年の間立教學院の教授として終始誠實を以て青年の薫陶指導に當られてゐた事を我等は感謝するものである、こゝに我等は先生多年の鴻恩に酬ゆる微衷を表するため校友諸員に圖り老後安息の一屋を建てゝ先生に贈呈せんとすることを趣旨とする。

因に同會事務所は池袋一〇六八巣田政一方

單位數減少に
附隨制の立案中
選擇科目に重きを置いて
來春實施の見込み

履修單位を目標として必修科目を減少し選擇科目を增加する傾向は多年の懸案になつてゐたが今春木村氏の商學部長、小島氏の文學部長の就任を見るに至つてその實現に手を染る事となつた、文學部においては餘り改正される點はないが商學部は相當廣範圍に改正される見込みで大體する所によるとこの改正案は主に早、慶、商大の例を參考とし從來餘りに微細に渡り過ぎた選擇科目附修方法に改正を加へる點が重大な要點をなすものである、これは自由に一科目を選擇履修する事によつて當然付隨的に他の一科目をも必要とする場合それに對して何等の制がなく折角履修した科目の活用範圍に影響を及ぼすが如き從來の弊を改めて選擇科目に附隨制度を加へ即ち何々を選擇した場合同時に何々をも選擇する事によつて所謂トンボの弊を改めるにある、この結果必修科目は減少、選擇科目は增加される同時に履修單位數の減少はもちろん授業時間の單位を見るは必然的で來春よりこれを實行さすべく目下兩學部長の手元に該案の整理に忙殺中である

立教文學原稿募集

過般十週年記念講演會、文化展覽會を開催して好評を拍した雜誌部では來る九月下旬、機關誌「立教文學」第四號を發刊する豫定で寄稿の依頼、一般學生からの原稿募集等に着々準備を進めてゐる同誌は三回發行豫定を決定した年六回發行計畫により內容本位により編輯發行される

社説
職制改正に就いて

一

本學當局では、從來の職制につき不備の點多々あるを痛感、今春來須藤事務所長の手許において杉浦學長の腹案を骨子として職制改正草案作製中のところ、過般脫稿し去る六月下旬、常例幹事會に提出、草案の一部に變更を加へて內定を見た。同案の內容については、別項詳報の如くであるが從來の學生監を改め學生課の新設、および學生人事課、會計課、教務課、庶務課、衛生課のいはゆる六課制を施き職制の合理化を斷行するに至つた。人事について傳ふる所によれば學生課長に岩佐氏、學生人事課長に根岸氏、會計兼庶務課長に矢澤氏、教務課長に須藤氏、衛生課に聖路加病院の堀內博士を顧問に、植木醫師を校醫に內定した模樣である。

二

本學、今回の職制改正は單に從來あつたものゝ名稱を變更乃至は確立したものと見るべきではなく、全く本學當局の對學生關係をヨリ圓滑ならしむるところの本質的な改正といふことが出來よう。これ杉浦學長が年餘に亘り調査研究に沒頭した結晶ともいふべきものである。かくて最近、いよいよ本質的の職制の改正に人事の充實を行ひ諸般の事務遂行上必要なる機關の陣容が出來上つたものと見ることが出來る。今後は新職制の運用よろしきを得ることによつて對學生關係は、好結果をもたらすことゝなる。然しながら今次の職制改正は、叙述の如く本質的のものであるから六課制の圓滑なる運用には相當期間が必要であらう。しかして一度その運用に修熟せんか責任の歸着が明確となり事務の簡捷、能率の增進は、期して待つべきものがあらう。もつとも制度は二の次であり總てのもの、根本には常に人材にあることに留意せねばならぬ。この點に關して、吾人は現在においては既に內定せる諸氏に滿足の意を表せざるを得ない。

三

かくて六課制による本學の新陣容は全く整備した。が對學生關係の行手は、決して坦々たる大道を走るが如きものと想像することは出來ぬ。途中、山あり谷あり大水の存することを想はねばならぬ。かく見れば、新職制の運用の至難なるは想像するに難からず從つて又、今後の效果は刮目に値するものがあるであらう。

歸省學生の惱み

歸省學生から東京在住の學生宛の書翰中に、地方官憲の非常識なる干渉乃至は監視の程が屢々述べられてゐる。暑休の中ばに達せざる今日、既にかくの如き擧に出るのであつてみれば、今後の監視は益々異狀を呈するであらうと語られてゐる。から言へば「それは赤い學生に限つてのことだらう、さうに違いない」と獨り斷定し勝ちであるが地方から報じ來る通信によれば、善良、不良を問はず有ゆる種類の學生に行はれる點に注意せねばならぬ。吾人はこゝに、地方官憲の不當なる干渉について、二三の實例を示すと中央公論乃至は改造を購讀すると注意され、監視される。某縣下では、巡査が學生の宅を訪ねて「君は中央公論を讀んでゐるかね？　こゝへ來たらさうした本は讀まないでもらいたい」といつたさうだ。學生中中央公論乃至改造を危險思想の雜誌と考へる向は皆無といつてよい。今更ら中央公論及び改造の世評を紹介するまでもなく學生一般は、よく兩雜誌の眞價を認識してゐるのである。中央公論、改造等の雜誌を購讀して貰い度くないと稱する官憲は、日本講談社發行の諸雜誌を購讀して、封建時代の讀者になつてほしいとでも言ふのであらうか。文部省で盛に稱導しておる思想の善導は、講談雜誌に依つて達成されるかも知れぬが、一體學生の學術の蘊奧を極めんとする彼岸はどこにあるのであらうか。何この事に關し一言せねばならぬのは、左傾學生として恐怖されてゐる學生の購讀する雜誌は、中央公論等でなくして、インターナショナル、産勞時報、プロレタリア科學、マルクス主義の旗の下に、その他ナップのブロックから發行されてゐる戰旗、プロレタリア演劇の諸雜誌に集注されてゐる實狀にあるかゝる實狀を知らぬ者の無き官憲が今次の如き擧に出るとは迷惑も甚だしい限りである。なほ甚だしき干渉振りに付いては、學生宛郵便物が到着前郵便局にて開封、內容を點檢する地方があるとの事である。何故になどとの質いは愚問だ。彼等の目的は容疑にあるかは明瞭であるが累が左傾學生にあらざるものにも及ぶに至つては、斷然抗議して猛省を促すべきである

誰れ彼れの區別なく「こいつは一寸臭い」からとて、一々開封されては默つてゐられはしないではないか。

地方官憲の歸省學生に對する干渉は、實に各方面に亘つてゐることが干渉をかこつ學生の言葉から推測される。かゝる干渉の理由としては歸省學生中、郷里にあつて農民、勞働者の啓蒙運動に極度の恐怖を懷き、かゝる運動を彈壓せんとする地方官憲の意圖であらうけれども、そのために蒙る善良なる學生の種々の不便に付いては泣寢入る外なしの實狀に徵して、吾人は抗議するものである。

また〱文部省
通牒を發す
學校騷動の頻發から
不穩分子を排除せよと

最近學校當局の裏をかいて大學高等專門學校における盟休事件學校騷動は頻繁する情勢にあるが文部省では近く三高、浦和、松山等における學校騷動に關する經過を直轄學校に注意、盟休事件に關する通牒を發してこれが對策方針を指示することゝなつた因に左記の如き內容を有するものと傳へらる

最近頻發する騷動乃至は盟休事件の大部分はそれ等の實情調査に依つて學生生徒全體が事件に參加することは極めて稀有のことであり多くは一部不穩分子の宣傳煽動に附和雷同し事件を徒に過大ならしめた傾向が甚だしいことが判明今後は善良なる學生、生徒の何等の信念を持たぬのにつけ入る不穩分子を一掃する方針を以て盟休事件の急先鋒をなせる不穩分子に對しては斷然放校、停學の處分をなし若し處分の後改しゅんの情顯著なるものは復校せしめ一方において各種の思想善導訓育施設をなし他方において監督取締りも勵行せんとする方針である

立教學院財團
近く實現か
聖公會の認可下り
文部省へ認可申請中

本學および立教中學を含む學院財團設立へ向つての運動は既報の如く昨秋財團條文の成案を得て米國聖公會本部に送付濟みの所かい教の一切の委任を受けて今春ウッド博士來朝のみぎり同氏の熱心なる調査により急速に六月下旬に至つて學院財團設立の認可が下るに至つた、こゝに昨夏財團確立への職を發して以來一ヶ年餘に多年の要望入られて聖公會教育財團を離れて立教學院財團の實現を見るに至つた、最後本學および立教中學は兩校を含む學院財團により經營される事になりこれにより種々利益の生ずる事はいふを待たぬ所で目下ミッション事務所にて文部當局へ認可申請中につきいまだ公の條文の公表を見るには至らないが遲く共今秋までには認可の見込みで理事の任命等認可の下り次第發表を見るはずである

補助給附額
決定す
去る十八日
委員會にて

學友會では去る六月十八日午後二時より二十番教室にて委員會を開催、本年度部外團體補助金給付額の審議をなしたが本年度は加入申請は一部もなく昨年度までの十部に對し左の金額を給付することに決定した、尚同委員會では昨年度において補助金を給付せざりしスケート部等に對しても漏れなく補助金を給付したゝめ經濟學會、史學研究會等は減額する結果となつた（單位圓）

英文學會	一五〇
劇研究會	四〇
史學研究會	一八〇
商工研究會	一八〇
經濟學會	一八〇
乘馬部	四〇
洋畫クラブ	三〇
マンドリンクラブ	四〇
スケート部	三〇
映畫研究會	三〇

警笛

投稿歡迎　學級及び氏名明記の事紙上匿名隨意

寄宿舍廢止報道と寄宿舍の立場

吾人は六月十五日日付の本紙第二面に堂々三段拔きで寄宿舍移轉問題を掲載し、或文學會まづ立ち經濟學會、史學會これに贊成する等と實に嘆はしなること迄報道して居る。剰へ記載して吾人が敎しき生活を節制し、目的に同化し、吾人が一時にジャズに踊り狂い酒を飲し麻雀を働き、舍則を守らず、舍監を馬鹿呼ばりするらんぬんと寄宿舍の寄宿舍生活が極度に墮落して居るかの如き記事があつたことと讀者は記憶されて居ることゝ思ふ。吾人はこの記事を見て事實を余りに曲解し捏造し誣謗するものとなし新聞學會の誠意を疑ひ、中傷的記事に對し公憤せざるを得なかつた。

その後新聞學會は吾人の態度と以後の意のあるところを諒して低くある所を學會として取られることとし謝されたので吾人はこれを信じ私利、私利を度外視し眞劍全體の利益を擁護すべく公俯で言明した大學新聞の嚴然の態度を認めると信ずるのである。

然し一般讀者、特に校友、舍生の父兄等が吾人の舍を誤解され不安に感ずるは危險であるなどと心配される方々のためにここに一言吾人の立場を明かにして置きたいのである。

抑も今次寄宿舍は日本有數の設備の完備せる寄宿舍で過去において大學生活の重要な役割を勤めて來、現在においても大學生活の中堅たらんと努力しつゝある。

四五人から成る一家ですら往々軋轢や爭事が起る、まして八十人からなる自由な青年が共同生活をなす場合小數の者が時に「問題」を起すのはやむを得ない、舍としてはその「問題」に應じて出來るだけ正しい態度を取る樣に努めて來た。然しこの小數の者の仕打ちで全體の操行や氣風を律せられては舍としては大變迷惑である。例へばジャズを愛好し踊る者が舍生の中に四五人はあるだらう、だからといつて舍生全體がジャズに狂ふ樣に思ふのは早合點も甚だしい。又現代の青年の趣味等を形式的の道學的立場から批評されては困る。現代の青年には現代の青年が持ち得るよい娛樂や趣味があるはずである。舍としてはこの娛樂や趣味を舍生がもつとよく持つ機會を造りたいと思つて居る位である。

又過去においてある記事の一部に多少誇大する事が我舍にあつたかも知れない。然しそれは現在ではない。例へば飲酒の問題であるが、少くも現在ではめいていしてなく夜遲く歸舍し舍監を馬鹿呼ばりする樣なことは絶對にない。否、全體としては最近に至つて舍生の操行や舍の氣風が高まつたことを吾人は公言し得るのである。もちろん舍の理想から見れば足らない點が多々ある。これに對し吾人一同は自覺し不斷の努力をせねばならない。然し既に指摘せる如く血氣盛んな八十人の青年の共同生活はそう安く理想通りに行くものでないことを一般父兄等は了解されたいのである。

同時に吾人は悲觀論者になる必要はないのである。寄宿舍がうまくゆかないからなどと眞相もよく知らないで言葉のみを信じ現在の寄宿舍を閉鎖して移轉しろなどといふ必要はないと思ふ。寄宿舍はどこにあつても「問題」を持つて居る自由な校外に移轉すれば一層幾多の「問題」が起り得べきことを何人が否定出來やう。立派な寄宿舍の存在は立教大學の誇るべき特色であつた。吾人は舍團生活の重大な役を任ぜられて居る。讀者一般もこの使命を自覺せる吾人に對し誤解あるはそれを捨てゝ正しくかつ同情を持つて我舍を見守つて居て欲しい。（舍生一同）

大谷少將
挨拶に來學
上成績の雨中
教練を視察

春の陸軍大異動により第一師團司令部付として大谷一男少將の新任を見たが同氏は去る六月二十九日新任あいさつのため來學し時の杉浦學長に敬意を表すると共に豫科教練の視察を終へ上成績の極

た

閑を利して歸學した、同一週期間豫科實彈射擊は同月二十六日に施行されたが一人三十二點の平均をもつて非常な成績を見せて完了した

バンデー教授
歸米
去る廿九日
太洋丸で

既報の通り教授ジエー・イー・バンデー氏は去る廿九日午後三時横濱出帆の太洋丸で家族同伴歸國した、今回の歸米は全く家庭上の都合からで郷里ロスアンゼルスに二三年は滯在の見込で今度歸學する時は哲學博士の學位を得て來任の由である

財源あつての
寄宿舍移轉問題
舍內紊亂は無根の報

本紙前號寄宿舍記事中に校內における寄宿舍廢止問題に付ての報道は舍生はもちろんの事學生、校友教授間にその如何を論ぜられて來つたが誤解上記報記事中の寄宿舍を廢止して教室及びそれ〲部室に開放云々は學當局としての學生數の增加に伴ふ諸機關の施設等によりとうてい現狀の校內敷地では狹アイを告ぐるにいたつたため先般ウッド博士

來朝 の指導を示して寄宿舍を校外敷地に移轉したき旨を歡迎したがその財源を他より得るには全く見込なく寄宿舍移轉は沙止みとなり財源が出來れば直に移轉する旨の經緯を促進するものであつて

寄宿舍內の亂鬪氣騷ぎの流言を口實とし寄宿舍學內廢止の運動を起したのではなく、又同記事中舍監室の前に立つて馬鹿出て行けの暴言をはいて得意顏するうんぬん、私憤から善良な舍生をリンチして仲間をよろこばせるうんぬん、ジャズに合せて踊り狂ふうんぬん等は過去

現在 においてその例を見ない程でその他誇張的により直接舍生々活に影響を及ぼすが如き記事は事實誤記に付き取消す、現狀の寄宿舍を見るに全體において舍生の操行や氣風等に自覺を見るに至り八十名一家を見るが如き生活ぶりである、又岩佐氏語るの記事中現在の寄宿舍がどういふ實狀にあるからうんぬんについて同氏は實際あの時寄宿舍亂鬪氣騷の話は全くなかつた、僕が寄宿舍の事をよく心得てゐるといつた言葉を丁度寄宿舍の記事の直後に載せてあたかも寄宿舍の紊亂を保證させたのはヒドイと語つた

消費組合部長
決定す
星野辰雄氏を
推戴活躍を期す

部長問題に付行惱んでゐた學生消費組合本學支部では種々協議の結果商學部長木村重治氏を部長に推薦することに內定したことは本紙前號既報の如くであるが同氏に交渉の結果問題は急轉直下的に解決同氏斡旋の下に教授星野辰雄氏を推薦に決定、同氏の快諾を得るに至つた尚同部の對學校關係も漸次良好におもむいて來たので九月以後の活躍を期してゐる

弁論部の遊説
無事終る
七日間に亘り
山陰地方遊説

本學弁論部では去る七月十日午後八時十分東京驛發にて山陰地方遊説に出發、當夜は出發直前突然にも出發時間を變更したゝめ多數出向いた同部先輩諸君に學友會各部の見送りを得ずその出發はさびしいものだつた、一行九名の部員は根岸由太郎教授の引率の下に去る十一日はち切れさうな元氣で敦賀町に到着、遊説最初の講演會を敦賀新聞社の後援で同町高等女學校にて午後六時半より開催した、プログラムは左の如くである

開會の辭石井海三君、現代政治に對する一考察石井泰君、流轉社會を凝視せよ山內丈夫君、中小商工業者の沒落過程を論じその救濟策に及ぶ板谷新太郎君、ロンドン會議に現はれたる軍縮の意義加納英三君、經濟學と政治學との相互關係を論ず柳橋重平君、現代の行詰りとその轉換策への一考察根岸由太郎教授、閉會の辭山內丈夫君

敦賀町での講演會は聽衆四五百名に達しすこぶる盛會であつた、松江市での講演會を除いてはことごとく盛會を極め數百名の聽衆をかゝさない有樣で聽衆が概して農民、勞働者であつたことも講演會を活氣あるものとした十七日の今市での講演會を最後として遊說隊は解散した

弁論部クラブ
生る
去る十七日
會報を發行

本學弁論部先輩の發起により過般立教大學弁論部クラブは誕生したクラブ部員の親睦融和に向上を計る趣旨で盛々活動をなし去る二十六日クラブニュース第一號を發行した同クラブ事務所は府下巣鴨町三ノ廿三中曾根正三郎方

蓄音器もレコードもビクター
¥150.
ビクター
日本ビクター特約販賣元
東京銀座　十字屋樂器店

贊助會員
相澤義明氏
突然死去す

新聞學會贊助會員相澤義明氏は去る三月末日より病を得て臥床中の處本月二日突然心臟痲痺におそわれ死去された

氏は大正十五年度本學經濟科出身で在學中學內に新聞機關の設立を見んとして苦心惨たん遂に大正十四年末立教大學新聞第一號を創刊初代の編輯長として鋭意今日に至る本學會の基礎を造り上げたが卒業後は富山縣黒部川電力株式會社に勤務、強氣不屈、實行力の旺かつた點等將來を嘱望されて居たが今回の死去は非常に惜しまれてゐる、享年廿八

診察　朝七－九・午后一－七
院長　醫學博士　保坂孝雄
（立教學院校友會々員）
京橋區木挽町一の十四
グラウンドキネマ隣
電話京(56)三九九六
省線有樂町驛
市電銀座一丁目下車
京橋
產科婦人科

時間空間

×

職制變更成る、これでお役立は揃つた、ゆる〱お手腕を拜見致しませう

×

智識階級の失業辨日を追ふて深刻。この階級の失業、就職難は今後も容易に救はれそうもない

×

「學校さへ出れば何とかなる」なんてのは昔の夢、今では學校さへ出れば食へなくなる

×

いゝ加減に我々も目覺めるべき時ではあるまいか

×

野球、庭球、水泳、登山その他等々、眞夏といへどもスポーツばかりは物凄い勢ひ。何とか色がつくだけでも良からう

×

七十日の夏季休暇もすでに半ばを過ぎた。九月にはお互に何かしら把んでこようではないか

暑中御見舞申上候
昭和五年八月十五日
立教大學新聞學會

立教學院校友會報告

◎昭和四年度會計檢査に就て

去六月三十日午後五時、芝區櫻田本郷町本會事務所に松崎會長、小野、田邊兩會計監督（平澤會計監督事故のため欠席）奧田、矢澤、中曾根の三幹事參集、矢澤幹事より昭和四年度會計書類提出、說明をなし承認を求め兩會計監督の調査及承認あり超て七月四日平澤會計監督同事務所に來所の上同樣異議なく承認ありたり。

◎第二回理事會

七月八日午後五時より芝區櫻田本郷町本會事務所において第二回理事會開催、ライフスナイダ總理、杉浦學長、松崎會長、關口、柳田、小島、須藤、根岸、中屋、の諸理事、矢澤、奧田、中曾根の三幹事出席、矢澤幹事より四年度會計報告をなし承認を求め、異議なく承認あり。次で中曾根幹事より五年度豫算案につき說明をなし異議なく可決確定せり。

校友消息

伊藤直男氏　大阪市浪速區河原町一ノ一五一四へ御轉居淺村樋口特許事務所に勤務さる
池上一雄氏　神田區連雀町一八において齒科醫院經營さる
花房滿三郎氏　麴町區內幸町二ノ二同潤會アパート六附五一號へ御轉居
橋本千里氏　麴町區富士見町五ノ一六石原方へ御轉居東京海上火災保險會社に勤務さる
德田鐵丸氏　三菱倉庫株式會社橫濱支店に勤務せらる御住所は橫濱市磯子區西根岸町一〇六四
和田正彥氏　市外大森町山王二六六〇へ御轉居
和島良三氏　長崎縣五島福江町新道通へ御轉居
渡邊政司氏　病氣のため盛岡商業學校教諭を辭職され新潟縣北蒲原郡新發田町品町に移らる
金津清光氏　金藏と改名さる
田中公平氏　佐欣と改名され札幌市南十六條西六丁目へ御轉居
田中睦士氏　滿州船渠株式會社大連工場に御勤務御住所は大連市聖德街三ノ七五
高見喜茂治氏　京都市上京區賀茂玄以町二七へ御轉居
辻尾豐三郎氏　神田區小川町一にて文房具洋畫材料商留紅莊を經營さる
永井治雄氏　吳市宮城町一七七へ御轉居
內藤己巳氏　株式會社米井商店に勤務さる御住所は市外中野町三三一
向井利男氏　小石川區音羽町一ノ五へ御轉居
村岡悦二氏　高野製鋼株式會社に御勤務御住所は大阪市外池田町室町九番町
村山太三郎氏　朝鮮興業株式會社に御勤務市外澁谷町氷川五三に御住居
黒坂五世氏　富士製紙株式會社に御勤務御住所は赤坂區青山高樹町一二
松井正氏　日本郵船株式會社橫濱支店に御勤務市外千駄ヶ谷町穩田九に御住居
松村義知氏　舊姓居森に復姓され東京地方裁判所へ御轉勤市外千駄ヶ谷町原宿九九梅岡方へ御轉居
卷島靜雄氏　市外馬込町口原三三一二へ御轉居
二神武氏　大連市臥龍台二一へ御轉居
古谷毅正氏　長野縣上高井郡須坂町へ御轉居
小島米吉氏　住友生命保險會社に御勤務神田區下白壁町一二に御住居
兒玉達雄氏　鎌倉町二階堂八〇四へ御轉居
遠藤捷六氏　茨城縣土浦町へ御移轉關東燃料株式會社に御勤務
跡部賢重郎氏　府下入新井町新井宿二三九一へ御轉居
荒卷永清氏　茨城縣土浦町東京電燈株式會社土浦營業所に御勤務
佐藤錦二郎氏　市外戶塚町諏訪二三六太田方へ御轉居
寒河江信雄氏　府下高方町上高宮一七三へ御轉居
木村清行氏　舊姓石井と改姓さる
三輪三郎氏　市外馬込町字北久保五六九へ御轉居

小野田哲次氏（中學大正十年卒）かねて御病氣御療養中のところ藥石効なく去月二十七日逝去せらる

新會員（二）

大學文科

今井順道氏　市外落合町下落合五三二一（目白聖公會牧師）
八田知雄氏　靜岡縣伊東町
本間一男氏　府下東調布町鵜木白木屋寄宿舍內（白木屋勤務）
小川修三氏改姓赤間　群馬縣伊勢崎町本町二丁目（伊勢崎聖公會牧師）
大塚忠男氏　小石川區林町五九須貝方
渡邊美豐氏　愛媛縣越智郡櫻井村榮町
河原東雲氏　山口縣大島郡屋代村
高橋金之助氏　橫濱市中區新町三ノ一〇〇
中村常三氏　市外淀橋町柏木四〇四能勢方
中屋忠夫氏　市外目黒町中目黒田道五九（服部時計店勤務）
武藤中常氏　四谷區鹽町一ノ一二安藤方（立大圖書館勤務）
信岡修吉氏　松江市末次本町二四基督教講義所（聖公會教役）
前原博氏　市外大崎町上大崎四四四
松本正氏　St. Andrew's Mission Prince Rupert. B. C. Canada.
松本文雄氏　神奈川縣中郡吾妻村二宮七一三（神田、巖松堂書店勤務）
安仁主氏　平安南道安州郡安州面七星里一二
佐藤忠恒氏　茨城縣土浦町田宿町聖公會（同會牧師）
清水一郎氏　本鄉區湯島三組町七〇
金城乾氏　咸鏡南道北青郡居山面坪里一三〇八

大學商科

井澤三樹氏　府下池上町小池台一四四九小澤方（勞働者診療所勤務）
猪飼賢氏　神戸市熊內町四丁目高瀨方（帝國運送計算保證株式會社勤務）
橋本季男氏　京都市左京區下鴨半木町七七佐々木方（京都市東山區役所勤務）
本莊一壽氏　市外松澤村松原五六
巨張直造氏　神奈川縣鎌倉町長谷
力丸廣雄氏　市外西巣鴨町池袋一四八〇太田方
小川健一氏　府下杉並町田端一五八（セール商會勤務）
渡邊正守氏　秋田縣南秋田郡戶米川村渡邊
金子一雄氏　府下東中野町上ノ原九〇九（日本生命保險勤務）
金子三雄氏改姓千種　府下荏原町中延大原北一一五九（日本生命保險株式會社勤務）
柿內寬氏　市外大崎町西ヶ谷二三九（三信建物株式會社勤務）
髙橋半氏　淺草區南元町一（支那貿易商）
高木龍也氏　北海道空知郡岩見澤町通ノ上
武田信興氏　丸ノ內郵船ビル內日本生命保險株式會社東京支店氣付（同社勤務）
大藤好幹氏　淺草區南元町三八（森永製菓株式會社勤務）
潮田邦夫氏　市外池袋一三五七高山館內（海外移住組合聯合會勤務）
根岸捨太氏　赤坂區氷川町七五（三菱銀行勤務）
中山正氏　牛込區若松町九四（日本ポリドール蓄音器商會勤務）
中澤千鶴雄氏　市外西巣鴨町池袋一〇四六
長武氏　米澤市馬場町一二五
上野英次郎氏　小石川區關口台町一三（日本ポリドール蓄音器商會勤務）
野田正氏　市外池袋端ノ內六九端江方（煉炭販賣株式會社勤務）
能見公氏　市外澁谷町鶯谷二六保川方
栗原荘一氏　埼玉縣入間郡入間村南入曾
矢橋駿雄氏　大連市光風台七五（三共株式會社大連工場勤務）
山田巧氏改名祐久　神戸市兵庫入江通五丁目東京製鋼株式會社兵庫工場內
山田有治氏　京城府南大門通り朝鮮殖產銀行（同行勤務）
山崎英一氏　松江市白潟本町松江銀行內（目下入院療養中）
前田善晴氏　牛込區岩戶町七
眞壁恭男氏　京城府三坂通り一六四福島方
松藤虎雄氏　熊本市本莊町
松岡止名氏　府下荏原町中延八八九（安田生命保險株式會社勤務）
松岡五郎氏　弘前市代官町九
藤井雅雄氏　神田區美土代町ＹＭＣＡアパート
小林文七氏　本鄉區曙町二七
高坂清三郎氏　小石川區上富坂二三清水方
後藤止四氏　名古屋市中區南伊勢町二ノ一〇
出口一雄氏　下谷區上根岸町八二
青木實郎氏　神田區美土代町ＹＭＣＡアパート六〇五號（小林商務所勤務）
篠井和信氏　市外池袋一〇六四
北堀四郎氏　大分縣宇佐郡駅館村法鏡寺
菊谷懋氏　兵庫縣揖保郡神部村原常四二七
雪下卓二氏　福島縣河沼郡野澤町乙二二四〇
正田彥三氏　八幡市大藏町三丁目八幡製鐵野球部合宿所（八幡製鐵所勤務）
平松門次氏　岡山市上元町一〇近藤方（明治生命保險株式會社岡山支店勤務）
茂木文藏氏　下谷區上野櫻木町二九（大平仲買店勤務）
鈴木稚堯氏　府下石神井村田中新田一二二九（株式會社田端屋商店勤務）
（以下次號）

拜啓炎暑烈敷候處愈々御淸寧奉慶賀候陳者校友諸兄の熱誠なる御支援に依り兩會共漸次其の基礎成り事務所開設の使命を完うするを得候段感謝の至に不堪候。扨今般學院に於て池袋大學構內に兩會の爲め事務所を新築提供せられ候間七月末日新事務所に移轉仕候。

今後共何卒一層御後援賜度懇願仕候先は移轉御通知旁々暑中御見舞迄如斯御座候　敬具

昭和五年七月
東京市外池袋立教大學構內
立教學院後援會
立教學院校友會
電話大塚　一二三三番　〇四〇番

校友各位

三伏の炎暑如何御過していらつしやいますか御伺ひ申上ます。扨本年度校友名簿來九月上旬頃完成の上御配付申上げたいと存じまして鋭意整理に努力して居ります。就きましては過日御異動其他御照會申上げましたが未だ御回答これなき方は恐れ入りますが時日の餘裕が乏しうございますから至急御報知を願ひます。又昨年度名簿中に錯誤、脫漏及其の後の異動等につき御氣付の點がありましたら是非御一報を煩したうございます。

立教學院校友會　幹事

學生層に反映する未曾有の不況時代

一體この不景氣は回復するのか何にしても憂鬱な話

生活難、就職難、廢業、失業、休業、食逃げ、賣食ひ、家族心中、自殺、發狂、放火その他等々悲慘な殺人的文字を以て埋られた近頃の新聞面を見るまでもなく現在の不景氣風はあまりにも深刻、あまりにも慘酷である、果してこの不景氣が回復するかどうか？　文字通り澎湃として襲來した今次の世界的恐慌も、資本主義の存在する限りにおいては產業循環も存在するから——それが如何なる形態においてゞあるかはこの場合別問題としても——何日か終熄する時がくるのであらう、何にしても憂鬱なことではある、この寂みなき不景氣風が學生層にはどう映つてゐるか？　そして學生層をその主なる顧客とする學校付近の商店、飲食店娯樂場にはどんな風に反映してゐるか？　次に池袋商店街を中心に蹤的な觀察を試みよう

どう遊ぶのが最も効果的か

享樂追求に忙しき彼等にもこの惱み

我々學生層は例外なく中產階級の子弟である、從つてやがては沒落するであらうこの階級がこの不況時代にどんな苦い經驗と苦痛を嘗めつゝあることか、それは我々の知る通りである、

產業 の合理化、大資本の中小資本壓迫その他等々あらゆる經濟的政治的事情は、我々中產階級にどんな影響、どんな反應を與へつゝあるか、これも我々の知る如くである

我々の父兄のある者は有價證券の利益配當をその主たる收入としてゐる、ある者は退役將校であり大學教授であり、高級官吏である又ある者は地方の素封家であり商店經營者であり

地主 であるであらう

然しこれ等階級が昨今の世界的大資本の前に、何する術も知らずその生活をきりつめざるを得ざるの狀態にあるか我々はその周圍にハツキリ見ることが出來る、從つてこれ等父兄の經濟的逼迫は必然的にその子弟たる我々に影響して來る、然し我々學生層が父兄の出資によつて學生々活を營んでゐる限りは、如何に不況、不景氣といひながら、社會の大部分を占めるある階級に比べるとき彼等はジヤズにダンスに映畫にスポーツに麻雀にきよう樂を追ふに忙しくして實に有閑的で生產を知らず消費のみを知る無產の

集團 である。自覺の足りない多數學生層は反動的にいはゆるモダン・ライフを享樂しメリケン映畫そのまゝの生活に異常なあこがれを有し、いはゆるモボなるものゝ多くが學生であるといふことは何を語るか？　身をメリケン風に飾り左翼的な口吻をもらすことが、もつともシークなりとせられる、これ等エゴイスト的

享樂 を追ふに暇なき多數學生層の盲動は、來るべきこれ等階級の沒落を豫言するジヤズ的狂躁以外の何物でもない

ひとたび我々學生層が校門を離れた時そこに待つものは就職難であり生活難である、そしてほとんどの者は即刻失業群に編入せられるのだ、かく見る時、我々學生層たる社會の一集團はそれが知識階級であるが故にか不況、不景氣が募れば募る程自らのエゴイスト的享樂を追ふに忙しき身となるかに見える、それはこの必然の誤謬を認識し歷史的使命を帶んとする優良學生は赤化思想を信奉する者として

迫害 される目茶苦茶さに耐えられないせいであるかも知れない、

然し彼等が如何に享樂を追はんとしても先立つものは小遣ひであり金である、そこに彼等のヂレンマがある、父兄は經濟的に益々困惑し來つてゐるから、そうそう小遣を與へかねる

だからは **彼等** は如何に効果的に遊ぶかを始終、深甚に考慮してゐる喫茶店などでも、一杯のコーヒーで何時間ねばるかを競ひあふといつた樣なすべてが調子である

喫茶店
スミレのおかみさん談

學校がお休みになりましてからミカサの方は休ませて頂きました、私共のお客樣は三分の二が學生さんですから、學生さんがいらつしやらないと大變淋しう御座います、でもスミレの方は夏でも閉ぢないで通すつもりです

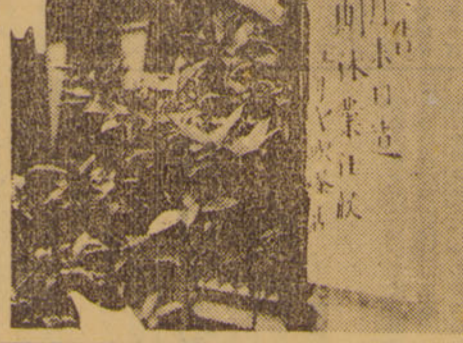
純眞さが呼ぶ好評

學生の夏期勞働好成績

暑中休暇を利用して學資かせぎをするかたはら、處世術の實習を併せ習得せんとする學生の希望は、深刻な不景氣風とともに益々多くなる傾向にある、保險會社の外交員、キヤンデーストアのサービス見習ひ、氷屋八百屋の配達からさてはいまり燒の販路擴張等學生の夏季勞働は雇主側でも學生の純眞さ眞面目さこもつた仕事振りに大喜びの態であるとか、本學商工研究會の大原海岸における森永キヤンデーストアの經營などそのもつともなるもので、今年の如きは明治、法政等もその付近に開店した由、明治生命では夏期實務實習生××大學學生何某の名刺を作つてくれる程のハリキリぶりである

哀れを止めた池袋商店街

夏季休暇で學生を奪はれ諸商人は青息吐息



本學を始め立教中學、豐島師範、護國教育所等の存在は池袋をして學生街たらしめるに充分である、從つて池袋には學生を主なる得意とする商店が

頗る 多い、主なる得意とするところが學生をその全部の對象とする店が少くない、いはゆる喫茶橫丁の軒並の喫茶店、娯樂場としての玉突屋、最近流行病の樣な勢ひで簇生した麻雀クラブ等その尤なるものである、何といつても學生ともつとも關係深いのは飲食店、書籍店に指を屈するだらう尙ここに除外することの出來ないのは、學生が國許からの送金がおくれた時など一〇〇パーセントの効用を示す金融機關としての質屋の存在だ

これ等諸營業は學生の存在によつて始めて成立つといつてもそれは決して過言ではない、現に夏季休暇中は

營業 を休む店さへ少くない、事實學生がゐなかつたら商賣にならないんである

だから如才ない商人は決して學生の氣を損ずる樣な眞似は決してしない、こういつた調子の店の多い池袋の商店街、この底知れぬ不景氣に、夏季休暇といふ大事な大事なお客さんを離散せしめる時季が來たのだから目も當てられない、それこそ青息吐息、はたの見る目も氣の毒だ、だが、今日の場合夏休みたらずともこの不景氣が

學生 ばかりは例外といふ譯ではないのだから、今假りに學校が開講中だらうが、大した變りはないと見て差支あるまい、珍妙亭のおかみの話によつても

手前共は九分通り學生さんをお得意としてゐますが、何しろこの不景氣ですから學生さんも、とても考へてお金をお使ひになります、晝飯など大抵の方が十五錢位でおあげになります、今では學生さんがお見えにならないんで全く上つたりですうんぬん

といつた具合で、我々學生が如何に經濟的に行動し來つたかを證明してゐる、喫茶店などでも、一杯のコーヒー、一杯の

紅茶 で與ふる限りがんばらうの手合が多く、始終客がいり込んでゐるので外見にはさぞ儲かる樣に見える、事實は決して儲かつてはゐない、昨今あれを止めたのは玉突屋、麻雀クラブの簇出に押されて（現在三十四軒池袋署管內）客足がてんでたえた

流石に廢業する者は皆無だが僅か許りの權利金で他に讓渡して

轉業 してゆくとは池袋署營業係の語るところ、麻雀クラブにした所で、決して儲かつて許りゐはしない、日に四ゲームか五ゲームをあげれば上々の成績だといふから大よその見當がつくといふもの、か樣にどんな商賣、どんな營業もこの不景氣に影響されない所は絕無だ（寫眞は休業廣告の貼紙をしたユリヤ喫茶店）

飲食店
文ちやんのおかみさん語る

お休みになりましてからは全く上つたりです、私共で文化丼を始めましてから學生さんが急に殖えまして學校のある時は少ない日でも百はこなしました、それが今では日に五つか六つ出ればいゝ方なんです、ですからもう學生さんは大事な大事なお客さんです。そのお客さんがゐないんですから全く困りきつてゐます

書籍店
みどり屋店主南氏の談

何しろこの不景氣です、外の商賣と違つて學生さんの購買力が急激に減少したとは思はれませんが、減少しつゝあることはもちろんです、それに學生も金を遣ひが上手くなつてきましたよ、父兄の經濟的困難が學生に影響せずにはおきませんからねどこの學生でもさうでせうが學究的な本を買ふ人が至つて少いです學究的なものといへばマルキシズムに關したものに限られてゐます、賣れそうで駄目なのがナンセンスもの、何れにしても學生の經濟狀態が決して豐じゆんでないといふことは私達の店にもハツキリ反映してゐます

大原海岸の一

尖端を行くキヤンプ・ストア

カツプルの客にあてられて洗錬される奉仕ぶり

上總興津に合宿中の一日、學會員七人打揃つて大原に商工研究會の經營する森永製菓のキヤンプストアを訪問する。興津から五つ目の停車場約四十分の行程、汽車を降りて十町余り歩むと海岸に出るがこの間バスも通じてゐる。濱は南北に長くのびて鐵分を多く含んで黑ずんだ細かな砂が一帶に續いてゐる。その故か燒けつく樣な暑さだ岸に近い水はやゝ濁つてゐるその海岸の外れ近くに森永の赤い販賣旗が海風にひらめく葭子と天幕の可愛いゝ店が見えるそれがストアだつた。

◇　◇

旅先で會ふ兄弟は天張り懷しいがメムバーの如才なく愛想のいゝ應接振りもそれとなく商賣柄を思はせる。まづまづと勸められる冷いコーラスの味に渇いた喉を潤しながら忽ちわく歡談は次々へと續けられてゆく。

◇　◇

海に面して立てられたストアは正面が杉皮張りのスタンドで北側を除いて南と東には圍ひが無く開け放されてゐる天井は葭子を張りスタンドの後方に十二坪の調理場とメムバーの控場が續き天井は天幕張り周圍には葭子が回らしてあるストアの廣さ二十四坪、九つの純白のレザークロスのかゝつたテーブルとそれを取卷く椅子があんばいよく配置されてありスタンドに向つて右側には四つのボックス席があるボックスの背面はスタンドと同じく杉皮で裝飾して却々凝つたものだ天井の小旗も品よく八つ手の木をその間に手際よく植え蓄音器も備へつけてある。

スタンドとその後ろ側の棚にはズラリと森永の製品が並んでクーラーとアイスクリーム製造器ポントンが置いてある。

◇　◇

飲み物にケーキ類、果物が主でコーヒーコーラスソーダ水クリームといつた所からメロンフリツプコーヒーネクター菓子類も森永の製品をそろへて東京でも一寸そこいらの喫茶店には見られないものまで來てゐる。サンドウイツチも近々始めるが何しろいゝパンが土地では手に入らないので態々千葉から取り寄せるのださうだ。

その他ヨツトだとかシヤベルだとか子供の海邊の遊び道具まで拔け目なく取そろへてある。外觀といひ內容といひお世辭ではないが大出來だ。

◇　◇

七月の十三日に開業して八月は二十五日過ぎまで續ける豫定で現在はメムバーの半數四人しか來てゐないが七月の下旬から八月に入り書きいれ時になると全部揃ふはず、朝八時から夜は十一時が看板になつてゐる、濱の近くに合宿してゐるのだが夜は二人づゝ交代で控場で寢泊りする事になつてゐる潮が滿ちてくると店先からみぎはまで十米とないので少し荒れた夜などはおちおちと眠れないさうだ

◇　◇

吹きまくる不景氣風はどこでも同じでこゝにもたゝつてゐる、昨年に比べて半分の人出しかなくそれがストアの會計方の數字にも明瞭に現れてゐる試みに七月十六日の賣上高をみてみると十圓余りで昨年の同日に比べると三分の一といふ有樣だ、しかし今年は昨年の經驗がある上に出稼前丸ビルのキヤンデーストアでサーヴイスの練習を積んで來ただけあつて經營は堂に行つてゐる。

◇　◇

お客は一般に海水浴の連中よりも夜の海邊の散步がてらに一休みといつた方が多く晝間よりも夜の方が忙しいさうだ。うら若い二人連れのお客さんが仲よくボックスに向ひ合つて冷えきつたコーラスに初戀の味を味はひつゝ聽くレコードはメムバーの一人が氣を利かしてかけたハワイアンギターのセレナーデといふしんみりした所外は朧月夜で太平洋の黑潮がひたく〳〵と滿ちてくるといふシーンは大原ならでは見られないまこと美しい情景だが御同樣にこちらも若い手合のそろつてゐる事とてすつかりてれてそれこそシーンとしてしまひ調理も勘定方も暫し忘れ果てゝ茫然と立ちつくすといふナンセンスも起つてくる道理もない譯。お隣に二軒法政と明治の學生が矢張り喫茶店を開いてゐるがそれと違つてこちらは女氣は無しアルコール類は一切ださないので一般にかうした手合や上品な家族連れのお客が多く却て繁昌する由七月の末になり暇はつてくると近くの別莊に御用聞きにも出かけるつもりださうだが思ひつきだ。

◇　◇

波乘りとボートに興じ夕暮近い頃メムバー一同とそれから調理場の机の上にうづくまる可愛いゝマスコツトの仔猫におさらばを告げ歸路についたのは六時をすぎてゐた。なほメムバーを次に付記してをく何れも商科本三の人々である。

神田、玉村、須藤、內野、中西齋藤、恒任、加藤【一面グラフイツク參照】

歷史を尋ねて

3

お歷々を生んだ築地の初年

總の下がつた角帽で市中をのしまはつた彼等

◇今、全國的に大流行の學校騷動の先驅をつけた大阪川口二十一番の英和學舍は、ストライキの結末面白からず一時は閉校のやむなきに至つたが、翌二十年築地の立教大學校と併合せられ學生十四名は同校へ轉校し來つたこの立教大學校とは大阪における英和學舍と同じくウイリアムス師が日本傳道の第三期東京時代を飾る大事業の一つである、即ち明治六年十一月居を東京に移したウ師は翌七年二月築地居留地七十番館に一小私塾を開いた、生徒の數は僅か五名、だがこれぞ實に現立教學院の濫觴である

◇

この私塾が英和學舍と合併した時までの簡單な歷史を訪ねてみよう

この小私塾は明治八年校舍を京橋區入船町に移し學生數も數百名を數へた、明治九年不幸大火に遭つて一時休校のやむなきに至つたが十一年十一月京橋區新榮町五丁目に一家を借り再び開校、翌年築地一丁目に移つた、明治十三年十月ゼー・エム・ガーデナー氏校長に就任し今の聖路加病院所在の築地三十七番に校舍新築を企圖し明治十四年起工し十六年まで滿三年かゝつて煉瓦作りの素晴しい校舍が完成して、この校舍が始めて立教大學校の名稱を生んだ、課程は米國のカレヂにその範をとり豫備科二年本科四年國漢の外は凡て原書を以て教授したといふから素晴しい。

◇

かくて英和學舍との併合を終へた立教大學校は華かな東京時代のスタートをきつたのである、明治二十三年名を立教學校と改めて、學則を變更して尋常中學三年級以上高等中學に相當する課程を授け修業年限を五ヶ年とするなど、大に陣容を整へ、同時に內容も充實し來つた。時恰も憲法發布、いまだ西南戰役の血なまぐさい空氣が多分に漂ひガチガチの國粹論者、新しがりやの西洋文明禮讃者のにらみ合ひ、混とんとした渦中の中にも自由民權萬々歳の時代であつた

その當時のいはゆる書生が文字通りの破衣破帽ひとたび口を開けば治國平天下だの男子立志出郷だのと口角あはをとばして東洋豪傑を氣取つたらしい狀景は決して想像に難くない。當時下宿料は月三圓、授業料一圓、燒いも、いり豆、等書生さんの唯一の間食物、今の樣な西洋菓子、紅茶なんてのは、大臣、參議以外これを口にし得ないものとした。當時、大臣、參議なんつたらそれこそ飛ぶ鳥も落す勢ひ我々には想像もつかぬ程偉張つてゐたものである、そういつた事情の下だから政府の學政なんてものも朝令暮改、大學豫備門が高等中學校になつたと思ふと更に高等學校に改められるといふ狀態であつた、だから我立教學校の制度も猫の目の樣に變更されたものだ

◇

現在學院の內外をかためるお歷々杉浦學長、木村商學部長、岩佐新學生課長、須藤事務長、根岸新人事課長、小林（彥）山縣の諸教授を始め松崎校友會長等すべてこの築地の初年時代立教に學んだ人々である。この時代に出た校友の談によるとこの時代こそ立教大學校の黃金時代なりと豪語する。

◇

當時東京には本郷に東京大學、三田に福澤諭吉の慶應義塾、小石川に中村敬宇の同人社等あつたが立教學校生が總の下つた角帽（英米大學正帽と同型）を頭にのつけて東京中風を切つて步いてゐるのに彼等は切齒扼腕して口惜しがつたもんださうである、なんせ立教學校の教授は全部西洋人、從つて教科書もすべて原書を用ひ、西洋文明を西洋人から直輸入するのであるから偉張つたもんである。同人社あたりでは「サーカムスタンス」環境なんて「カイルカムスタンス」なんて、いやちほこばつた發音をしたり、ミルの「自由の理」スペンサーの「教育論」を講讀してゐたに過ぎなかつたといふから立教學校は鼻が高かつた。

◇

明治二十四年ガーデナー氏校長を辭しテー・エス・チング氏これに變つた。明治二十九年四月組織に大改正を加へ專修科及び普通科四年以上を以て立教專修學校を組織し普通科三年級以下を以て立教尋常中學校を設け校長チング氏總理の要職に就いて全般を統轄し、左乙女氏が尋常中學校長に就任した。チング氏ロイド氏、タツカー氏と總理の職は繼がれたが、明治三十六年タツカー總理時代、從來專修學院の一部として設けられる英語部を神田錦町に移しこれを東京英語專修學校と稱して新たに開校した

◇

今日熱病見たいに流行してゐる野球を日本に紹介するに預つて力あつたのが、さきにも話した當時を立教大學校の黃金時代と豪語する連中である

まだ一高などでも始めないうちこの尖端チームは英和學校（今の明治學院）と對抗マツチをやつた由である。選手の顏觸は、山縣、津田、金井、杉浦、小林、河本といつた猛者連、今こそもつともらしくおさまつておられるが、當時は尖端を步むモダンボーイとしてやんちやの限りをつくしたものだといはれてゐる。

◇

スポーツのみならず文藝方面においても如何に彼等が面目の活躍をしたかは又の日に讓ることにして、先を急がう。明治三十六年タツカー氏總理に就任するや、獨り中學校のみでは教育の主義貫徹せざるものあるを感じ元田作之進氏と共に新組織の下に大學設置を畫し、內外の有志の贊同をえて明治三十九年秋その議を決し直に講堂寄宿舍の新築に着手した。

かくて明治四十年二月立教專修學校はひとまづ閉鎖、新興立教大學の出現を裏書きするものと各方面に異常な期待と注目の眼を注がれた。（寫眞は築地舊立教大學校）

豫科修了者の學部轉科は自由

未修科目の檢定試驗で

從來豫科を修了して學部へ進む場合豫科商科より文學部へ豫科文科より商學部への轉科は學生はもちろん學生事務所でも手續が非常に困難で容易に許可されなかつた、ために種々學則改正の輿論があつたがこのたび學部入學に關する規定の一部改正を見た、これは豫科の學科目中の未履修科目の檢定試驗をパスすればいゝので豫科商科からの轉科には哲學概論を、豫科文科からの轉科者は簿記及び商業通論の檢定試驗にそれぞれ合格すれば直に轉科出來るやうになつた

方針全くなつて校友會豫算決る

會報發行・支部補助等

新例を設けて

校友會本年度豫算作製について去る九日理事會開催され總額五千五百余圓の豫算分配の決定を見たが新たに豫算案に設けられた中に從來全くその例を見ない新味が加へられる事になつた、それは各地に散在する校友會支部へ若干の

金額 を交付する事で、これによつて從來各支部の維持費、通信費等個人の支弁に待つ事が多かつた厄を助けると共に支部の發展に資するところ非常なものと一般より歡迎を受けると見做される因に各支部別交付金額は大阪、神奈川四十圓、神戶、朝鮮、北海道三十圓、名古屋、滿洲二十五圓その他九十圓でこの外新たに

會報 をだす事になつたがこれは大學新聞と聯絡を取つて同紙付錄の形式をもつて當分發行する豫定で年四回位を適當としてゐる

校友會則愈々改定

校友會規約は明治三十年頃創設當時の規定にその後暫定的改廢を行ひ今日に至つたものでその各項目に亘つては何等の規定もされてゐない結果今日の如き組織化された校友會においては事務、會計總ての點に種々欠くるところがあり

幹事 は常に頭を惱まし到底現在の規約では事務の遂行にも支障りが生ずるので根底より改案するに至つた、これが草案は常任幹事の手元で目下研究されつゝあるが今年中には成案を得て決定を見るはづである、例年秋季校友大會は十一月舉行され來つたがこれ等規約の不備等から議會の延期うんぬんの意見もあり今のところ來春か今秋かいづれとも決定を見てゐない

五年度版の校友名簿

九月中旬に發行の豫定

昭和五年度校友名簿は既に着手目下編輯に最後的準備を進めてゐるが完全なる名簿を作成するため調査に問合せに非常な困難を來し忙殺を極めてゐる、名簿は遲く共九月中旬頃には完成の見込で特に住所移轉の際とか校友間の出來事は早速校友會へ御通知願ひたいと、尙鳥羽ビル內校友會俱樂部事務所は今月限り閉鎖し來月より學校內に

北海道校友會支部大會

八月中旬開催

昨秋校友會式を舉げその後在道校友間の聯絡に充分の效果をあげ來つた北海道校友會支部は八月中旬會長松崎氏の來札を機とし第二回支部大會を札幌に開く事に決定本部にその旨通知があつた

入營延期願は八月十五日迄

本學軍事教官矢野大尉は紙上を通じ學生諸君に左の通り傳へて欲しいと語つた

徵兵檢查に合格して一年志願兵に採用されたものは入營延期願を八月十五日までに本籍地の市長村役場に提出しないと面倒が起り今年徵集の手續が取られます、徵兵合格者は期日を忘れず願書を出す樣御注意したい

設立を許された自動車研究會

九月實地練習を開始

經濟生活と交通機關の關係は現代人は余りに等閑視しておるが、將來實社會に活動せんとする學生が自動車運轉の技術を習得しおくことがどれ程有意義であるかとの

趣旨 の下に商學部二年有志の發企で立教大學自動車研究會の成立を見、既に學生監の許可を得九月早々王子自動車練習所において練習を開始するものであるが、練習は實地研究を最大目的とし每日曜これを行ふ、入會希望者は實行委員白極良一君（商學部二年）まで申込まれたしと、會費は一ヶ月三圓申込金二圓である、尙同研究會では二學期早々發會式旅行として長途の自動車旅行を計畫してゐる

ヱビスビール
品質第一

職制變更に伴ひ事務所增築

校友會事務所も同所へ

本學教務課事務所橫へしようしやな一事務所が九月早々お目見へをする、これは建坪二十坪工費四千圓三室に分たれたもので諸機關の增設から事務室の

狹隘 をつげ新築されたもので學生監始め學生事務室、聽講室、校友會事務所に三區分されるはずで從來芝の鳥羽ビルに事務所を置いた校友會が學校內に置かれる事は種々の點より非常な便宜をうむ事とならう

野球部の朝鮮遠征

京城日報の招聘で

本學野球部は京城日報の招聘に應じ去る一日午後九時四十五分東京驛發列車で西下、朝鮮遠征の壯途についたが一行は野田監督、山本主將、藤田マネヂャー以下二十名で目下各地に轉戰中であるが、その試合日割は次の通りである

▽八月五、六、八日京城三試合▽十日平壤▽十一日兼二浦▽十三日木浦▽十四日大田▽十六日大邱▽十七日釜山

運動部の夏期合宿

◇ラ式蹴球部　長野縣松本市淺間溫泉、八月廿日より廿日間

◇ア式蹴球部　神奈川縣藤澤町湘南中學、八月廿日より廿日間

◇弓道部　靜岡縣伊豆舟原溫泉八月廿七日より十四日間

◇柔道部　靜岡市靜岡中學道場八月廿五日より二週間

◇相撲部　愛知縣寶飯郡形原町八月五日より一ヶ月

◇競技部　新潟縣柏崎町八月廿日より廿日間

◇籠球部　伊豆伊東溫泉八月十日より一ヶ月

◇野球部　朝鮮遠征

◇水泳部　豐島園プール七月廿日より一ヶ月

◇ホツケー部　兵庫縣寶塚溫泉七月十日より二週間

再追試驗日割決定

例年の通り再追試驗日割は既に發表され九月十二日より二十日までの一週間に亘つて行はれるが、日割は次の通りである、尙受驗料は十一日までに納入されたしと

商學部一年當時分　十二日民法、英作文、十三日英語經濟原論、十五日貨幣、憲法、十六日會話、英經、日本經濟史、十七日刑法、銀行簿記、十八日經濟史、商品、十九日商業數學、佛語商業史、二十日英語、佛語、英經

商學部二年當時分　十二日教育學、英語、商史、十三日英經、日本經濟史、保險、十五日信託、銀行、工業政策、十六日計理、獨語、交通、勞働法、十七日英語、農業政策、會話、十八日英經、有價證券、商品、十九日商法、佛語、國際公法、政治學、二十日民法、英經

文學部一年當時分　十二日文學概論、英文學、十三日獨語、英文學、十五日獨語、佛語、十六日會話、英文學史、十八日英語十九日佛語、二十日佛語

文學部二年當時分　十二日教育學、英文學、十三日英語、十五日會話、英文學、佛語、十六日會話、獨語、十七日言語學、英文學、十八日英文學史、十九日佛語、獨語、二十日英作文

自由槍

▼傾向のいゝ聽衆　弁論部の山陰遊說は大成功を收めて過日解散したが、これは米子市での話、農村問題について得意の熱弁をふるつたT君、農村が如何に疲弊してゐるかについて「もつとも信用ある統計について見ますに小作人が一年を通じて剩し得る金は僅三十錢に過ぎない」といふや聽衆中の十五六の少女「何いつてんのさあ、一錢だつて殘りやしないよ」と痛烈な彌次、瞬間タヂタヂとした流石T君すぐ立直つて「もちろんです、これは全國的についてのことでして地方によつてはあなたの仰言る通り否もつとひどい所がありますよ」と述べるや先程の少女「異議なし！」これで滿場すつかり活氣づき、これは傾向のいゝ聽衆だとその後T君快心の熱弁を揮つたとか、又一說には驚いたんして早速降壇したともいはれてゐる

社告

夏期中學會事務所を左記に臨時移轉致します、學會への御通信は左記に願ひます

埼玉縣浦和町三、九五二
大島泰平方

新聞學會

酷暑の砌御機嫌如何被爲在候や伺上候

何時も御配慮を辱ふし居候、立教大學は以御蔭益々健全なる發展を致居候段厚く御禮申上候先年小林豫科長の下に豫科を三年制として學生の品質を向上し、續いて須藤事務長と高松教師を迎へて執務と訓育の上に一層の努力を致し、今春よりまた商學部長として木村重次氏と文學部長として小島茂雄氏を聘し大いに幹部の陣容を整へたる次第に御座候故、其結果は追々刮目して看るべきもののあらんと今より樂み居り候。而して大學擴張改善の事に關しては、刻下の時勢如何とも致し難く、此の處はかく〳〵しき進捗も無之候へ共、年來我等の希望する醫學部の新設は、そは只時の問題にして、何人も其設立の必要を疑ふ者は病院側にも學校側にも將た又たミツション側にも御座なく候間其實現は遠からざる事と存候最後に學內學生生活狀態は至つて穩健に有之候間乍憚御休神被下度候。野球籠球庭球其他の運動方面や、また例の英語會の活動に就ては茲に御報告申上るよりも來らんとする秋の期節に於て聊か確信ある其實況を御覽相願ふ方宜敷かと存居候。先は暑中御伺旁々如斯御座候

敬具

昭和五年七月

學長　杉浦貞二郎

暑中御見舞申上候
高島屋洋服店池袋出張所
諸橋忠

ジヤアナリズムと文學との交流

千葉龜雄

たとへば、エイチ・ダブルユウ・ポイントンの「ジヤアナリズムと文學」そこでは、ジヤアナリズムと文學は、對角線ではあつても、間違つても、同じ水平線上に立つ同質ではないと主張する。嚴密に言つて、ジヤアナリズムは、文學的眞相ではない。たゞジヤアナリズムが文學に或る接觸を持つ、それだけの話だといふ。ジヤアナリズムの本質的ビジネスは、記錄し、評價する事業であつて、創造し、もしくは、解釋することではない。記錄する技能を、評價するのは、有用な商賣であるし、評價的な仕事に從事するのは、立派な一つの職業である。それがうそにも藝術などであるものか。純粹のジヤアナリズムは天才を必要としない。うんぬん。その立場から、彼は、ジヤアナリズムにおける文學を排斥し、ジヤアナリズムと、文學者が、全然違つた存在として成立する……と主張する。私も、かつては彼の提言を、その通りに肯定したのであつた。「草の葉」の詩人ワルト・ホイツトマンは、新聞記者として一行も書かなかつた。ジヤアナリストとして役に立たなかつたといふよりも、ジヤアナリズムは彼に何の仕事も見出せなかつた！

が、しかし、である。このジヤアナリズムと文學に關する限り私は既に懷疑者となつて來た。そして、斷然、別な風に考へて來た。まづ世界の各國の、偉大な作家や戲曲家の閲歷を調べ出したら、驚いたのは、その半數内外か、何と多かれ、少なかれジヤナリズムに交渉を持つてゐる事か。……である。またイギリスの十八世紀以後の作家文人が、新聞、雜誌に關係を持つた人々が多かつたことは改めて云はず、今日でも、記者が、新聞の足を洗ふと、きまつて作家か、エツセイストになるといつた風だし、それ以上、アメリカの現代作家の大部分が、ジヤアナリスト出の前身を持つてゐるとは、「現代アメリカ作家」の群の巨匠調べをすれば直ぐ分るし、また評論家が、それを現代作家に見る一特質とさへきめてゐる。いや、「前身」は語弊がある。作家とて現役ジヤアナリストを兼務してゐる作家も相當にゐる。するとポイントンの定義をどう適用したらよいのか。どんなにしても異分子だといはれるジヤアナリズムと文學が、なぜ、ここでは接觸以上、睦まじく抱擁し得ることになつたのか。それとも文學が、ジヤナリズムまでに歩み寄り得ることになつたのか、それなら記錄、評價と、創造、解釋の分業をどうくゝりつけたのか。

思ふにかつて、ジヤアナリズムと文學が、全然化合し得られない二元素だと信ぜられたのは、その時代が持つた文學觀念によるものらしい。その時代の概念としての文學は、現實から、隔離した距離が遠ければ遠いほど文學が純眞であり、實感を與へる文學は、成熟しきらないとしてはねのけられた。文學は瞑想によつて深化される。また創作のために、高踏され、時間の自由が與へられねばならぬ。ジヤアナリズムは、どの條件にも反對の地位に立つ。だから、ジヤアナリズムの中の文學は「追ひだされねばならな」かつたのだ。

そこで「草の葉」は、輪轉機の響音から生れずに、書齋の瞑想から生れた。しかし、輪轉機の動力となる社會現實、その眞の現實の上にこの詩人がもつと力強く足を踏みしめて居たならば「草の葉」は、もつと、もつと、強い近代デモクラシーで民衆を激動したではなかつたらうか。

ちまたに出よ、鋭く現實を凝視せよ、現實から生きた生活をつかみだせ。文學人は現實から逃避するのではなくて、遂に現實へ飛び込む躍進と闘志にこそ、與へられた現代文學の使命がある。現代の尖端を逸早く發見し、そこにどつしりと腰を下し、批判、展望、躍動の役割りを分擔するのが現代ジヤアナリズムである。文學は、當然にそこでジヤアナリズムと握手するであらう。ジヤアナリズムの定義は、いふまでもなく、無數な異なつた解釋を含むにしても、正しいジヤアナリズムが、現代の正直の反映であり、それの反應的な批判である立場からは斷じて動かない。現代文學が、百パアセントの、現實生活の反映であり同時に、それが生命の摘出である點で、ジヤアナリズムを包括しジヤアナリズムを原材とするとも當然の行きさつだ。かくて現代文學は現代の註釋であり、記錄であり、同時に解釋し、創造する。そこに何の矛盾を見出さない。たとへば現代アメリカ文學の主潮から、ドイツの「報告文學」に通じ、進んで日本の、「調べた文學」に通ずる、冴えた現實味の一線を辿つて見ても、

ニイ・ジエイ・オブライエンは「ワイヌスブルグ・オハイオ」の作品詩人シヤアウツド・アンダスン。現實の逃避者であり、文明の脊照者であつたあの敍事詩人か、昨今小さな新聞社を買取つて、社主兼記者となり、彈劾を激動する印刷機の響音を喜ぶ現實。また、ざんごう戰で「戰死さへしなければ、神樣のお諾薬通り何でもする事を誓ひます」と叫んだ作品アアナスト・ヘミングウエイが、無信仰な現實業務を作物で試みてゐる現實をとりあげて、機械時代が、作家を心臟的に混亂させ、墮落させる一例に擧げてゐる。が、それもつまりは觀點の違ひでしきやない。アンダスンでもヘミングウエイでも、觀念の文學の殼をぬいで、物質──現實の文學に生きゆうとする一段の進展としたら何でも無いではないか。

アメリカ文學の特殊性であつたユウモア文學が、ウヰツト文學に席を讓りつゝあると、ユウモリストであるステイヴン・リイコツクが慨嘆する「われ等の時代はスピイドの世紀だ」「早く、より早く」「われ等はたゞしぬけの可笑しみ、瞬發的喜劇、戰りつ的衝撃そして壓倒的尖端を歡迎する、われ等の藝術と文學は、「事實」から、その性格をとりあげるやうになつた」云々。事實、──即ち現實ユウモアからウイツト文學、それすらも、まづ現實に足だまりを求めねばならない。良きジヤアナリズムと近代文學は、そこでほがらかな顏で、全面にわたる共同作業のシヤベルを振りあげる。

理論と實踐

ヘーゲル──フオイエルバツハ──マルクス

大橋勉

理論と實踐とを區別して考へるのは、啓蒙時代の特徴である。啓蒙時代の時代的關心は一般民衆の知識的向上である、百科全書的知識體系の獲得である。從つて啓蒙時代においては學者はただ單に知識の傳播者であるにすぎない。然も啓蒙學者は自然なり社會なりを彼自身直接に研究することには余り多くの關心を持たない。彼の傳播する知識は、彼自身の頭腦が現實に接觸して反省することより形成されたものではなくして（こゝにいふ現實に關する反省とはもちろん單に純粹に個人的體驗的なものを意味するのではない、學問にはその歷史がある、學問的反省は個人の生活の中においてのみならず更に歷史の聯關の中においてなされねばならぬ）、他人の學術的勞作の形式的反覆である。彼の仕事は他人の研究成果の中繼放送以上に出でない。かかる時代においては理論は當然實踐から引離される「理性的」といふことが「啓蒙」の一特色として考へられる、そして「理性的」とは「形式的」、「非現實的」の意味に解される。「理性的」は實際ある意味において「形式的」であり、「非現實的」であるが、然し啓蒙時代における「理性的」の特性は、本來は「理性的」といふ言葉に盛さぬ「抽象的」といふ意味を含んでゐるところにある。「理性的」とは本來「本質的存在」の性質を表はす語であつて論理的認識に關聯する言葉である「抽象的」とは必ずしも結合するものではない。然し「理性的」をかく「抽象的」に轉化せしめる原因は啓蒙時代の時代精神の中に含まれてゐると言はねばならぬ。即ち理論と實踐との分離が此の抽象化をひき起すのである。

然しながら理論の此の「實踐からの獨立」は實は理論の否定である。動物學に於ける諸動物の分類は、自然の中に於ける動物の現實的存在によつて規定されてゐなければならぬ、あたかも自然の中における動物の現實的存在が、動物學上の動物分類によつて理解されるが如く。理論と實踐とは辨證法的發展の中における二つの契機に外ならぬ。即ち理論と實踐とは分離され獨立せしめられることによつていづれも否定される。そして否定されることによつて自己の他への連絡を示す。此の兩者の連絡を見る立場に於ては「理性的」も「具體的」であり、「現實的」である何故ならば「理性的」とは、此の發展轉化するものそのもの即ち「歷史的」なものを意味するからである。此の意味では「理性的」も「實踐的」である。理論と實踐とは歷史の中に於て融合する。ヘーゲル──フオイエルバツハ──マルクスといふ公式がしばしば學示される。徹底せる有神論は無神論である故に、ヘーゲルの神學は必然フオイエルバツハの人間學となつた、前者の唯心論は後者の唯物論となつた。然しながら Mensch ist, was er isst. といふフオイエルバツハの人間學は全く啓蒙的である、即ち發展的（歷史的）要素と實踐的要素とを欠く。即ちフオイエルバツハはヘーゲルの觀念論を排斥するのあまりヘーゲルの弁證法を看過してしまつた。

歷史は一點から開展されて軌道を一週して自己の出發點へ還らねばならぬ。ヘーゲルの中からフオイエルバツハを生み出した歷史は、更に進んでマルクスを生み、マルクスにおいてヘーゲルへ復歸した（マルクスの唯物弁證法によればヘーゲルの觀念弁證法は弁證法の「逆立ち」ではあるが。）マルクスにおける「人間」は、單なる生理學上の人間ではなくして、「歷史的人間」である。マルクスの「人間」は單に二つの眼、耳、一つの鼻、口を有する動物であるのみならず、プロシヤの國王であり、ライン州の工場勞働者である。又マルクスにおいては、哲學の任務は、世界を説明するにあるのみならず、世界を改造するにある。（我々が我々の世界を如何に改造するかはもちろん我々の問題であつてマルクスの問題ではない。我々は──歸結は何であれ──出發點を誤つてはならぬ）。理論哲學と實踐哲學とは相補足する。

トロッコ・キシヤは語る

新聞記者になつて丁度五十日目頃に當るある暑い日の午後であつた。私は例によつてK區役所へゆくと、ある知人の吏員が私にそつと耳打した。

「子爵のお嬢さんが幼稚園の保姆になつたぜ」とね。私の胸はドカンと一つ鳴つた「こりやトクダネだぞ」私はもうぢつとしてゐられない、身體中から腕にゾクゾクするんだ（こゝいらが新米記者のうれしいところだ）で驅けつけたら幼稚園になる元封建子爵のおヒメサマがゐた。少女に一寸毛の立つたといふ年頃の美人だ。私はハツカシサをガマンして訊ねた。訊ね訊ね訊ね盡した。社に歸るや、一件總てを[illegible]部長に說明し、原稿を作製した。翌日これが寫眞入でニユースとなつて現れるや私はこの新聞をもつて又K區役所へブラリと行つた。と何とまあニユースの主人公、オヒメサマがゐるぢやないか。そして私の新聞を見るや「わあつ」とばかり泣だした。嬢の態度もあらばこそ。そして泣きじやくりながらかすかにいふ。「私の事はどんなに書かれたつていゝんですけれど、家の事やお姉さまのあらを書くなんて」あまりひどいといふんである。「なる程さうだ」まだ記者意識を確保してゐない私は同情心によつて胸を全部占領され危くもらひ泣きする所であつた「あゝおれはなんだつて新聞記者になつたんだらう、罪な商賣だな」若い女を慰める術を知らない私はたまらなくなつて區役所を飛びだした「オヒメサマ惡く思はないでね」

◇

「スリは人の懷中をねらひ、刑事はスリの懷中をねらひ、新聞記者は刑事の懷中をねらつてゐる」と聞かされた私の擔當警察はH署とK署である。ある日例によつてK署の刑事室へ行くとデカがづらりと並んで何か論してゐる「今日はなんだい」「いけねえ、いけねえよつて來ちやいけねえよ」「タタキかい」「まあそんなもんだね」それから約一時間ばかりネバつた私はとうくこの强盜事件のネタを頂戴におよんだ。なる程「新聞記者は刑事の懷中をねらつてゐる」下にや上があるもんだ」この言葉を體驗する毎に愉快が身體中を生々しくかけまわる「始めのうちはさうだよ」

◇

お盆も過ぎ、玉の様な汗の出る朝であつた。アト私の耳にネタが入つた「映畫殿堂邦樂座差押へらる」と「よし來た」とばかり探究に及ぶと廿一日から上映の「戀愛避難場」八卷が興行税三千一百圓滯納のためK稅務署から差押へられたといふ眞相であつた。直ぐ電話で送つた記事が夕刊に出るや、邦樂座の驚いたのなんのつて。そして揚句の果のいひ爭ひがいゝ、「金で何とかなるものなら揉消したい。」後これを聞いた知人が「君このネタを邦樂座へ持つて行つたら金百圓にはなつたね、だが、それをやらない所に今の新聞記者の價値がある。そこだ、トロツコは直に脱線するが君は非常によく軌道に乘つてゐる。まアすぐ行けよ」とけなしたんだかはげましたんだか譯のわからない事をいつた。だが恐ろしい障碍物がトロツコの前にワンサと堆積してゐる事實を發見した私は慄然として身體中の熱血を冷却した「喝に勝たなきや駄目だぞ。」（一新米新聞記者）

横行する商業 映畫の小市民性

──劍劇からナンセンス映畫へ──

旗一兵

資本主義社會においては、映畫は有力なる營利的商品である。他の重要産業に、マルクスのいはゆる「安定狀態、活況增大、繁榮、過剩生産、恐慌、停頓、安靜狀態等々」の諸局面による產業循環が有る如く、資本主義的映畫生產樣式も、資本主義の根本的公轉によつて、常に生產力の發展と消費力の窮乏とからくる矛盾を益々増大せしめる。

賃金屬はブルヂヨア社會に奉仕する一裝身具である。そして、商業映畫もブルヂヨア社會に奉仕する消費的玩弄物である。賃金屬裝身具がその需要階級たるブルヂヨアの好尚に總てを轉回させて、生產品に對する新しき消費的意慾を示唆して、その營利的慾望を充たすが如く、商業映畫も、その支持階級である、ブルヂヨアおよび小市民の安價な、無内省な、階級的にはブラインドな享樂慾求の核心を巧に把握して非文化的映畫の生産に腐心する。現在の資本主義社會において、凡ゆる藝術・文化は、消閑ブルヂヨアの獲得な享樂的野獸と、それを好餌として營利する商業ブルヂヨアの奸惡なる搾牙によつて歪曲され、生產技術は商業主義的に修正されて、藝術は、贅澤なる商品として、ブルヂヨアの脂肪ふとりの手によつてしつかりと頸に縛がれてしまふ。映畫はブルヂヨアにとつて、もはや日常的な消閑物である。豪華なブルヂヨア・サロンのカレンダーから、映畫と麻雀とダンスをマイナスした員はブランクでなければならない。かくてブルヂヨア社會に奉仕するを階級的使命として、また、それを營利的目的として生產される資本主義映畫は、必然的に、ブルヂヨアの好色的なモノクルの移動に從つて、その傾向を、益々ブルヂヨア的な、乃至は小市民的な軌道に求めるのである。

嘗つて、映畫界を風靡し、更に演劇界をも席捲せんとした「劍劇」は明らかに、當時のプチ・ブルヂヨアが共通に具備してゐた、ニヒリステイクな生活觀念が具象化されたものであつて、その頃、資本主義上向期のルツボの中で階級的に混迷してゐた動搖的インテリゲンツイアまでが、社會關係と生產階級の諸矛盾に逢着して、絕望的な生活權を放擲して虛無的な傾向に走つたが、それ等の中間的な半雜的な不安定な生活恐威か、ニヒリステイクな運命に無批判な共感を抱き、アクロバテイクな殺陣に卑近な興奮を味つてゐたのだ。

坂妻の「魔保呂詩」月形龍之助の「頽落」等々の惡魔的な愛僻なパノラマに小市民的なマスターベーションをむさぼつてゐた觀客大衆は、それ等を立脚せしめてゐる資本主義的社會情勢の推移に從つて當然にも生活意識が變轉せしめて來た「劍劇」が映畫産業のキヤステイング・ボートを握つてゐた大正末期から昭和初期にかけての數ケ年間は日本資本主義か上向線を描いて精力的に發展を遂げてゐたに拘らず、この資本家攻勢に對するプロレタリアの鬪爭攻勢が、强力に發展を遂げてゐなかつたから、帝修羅の如き資本のテロリズムとこれに對する盲目的なる勞働者、農民の與勢の間に介在してゐたプチ・ブルヂヨアの一群は、現實の鬪爭舞台から姑息的に逃避せんとして、逃避出來ない階級對立の深刻化に當面して、非常に虛無的な、いはゞ生活意慾を全然放棄した人生觀に捉はれてゐた。

しかし、その後の社會情勢の進展に伴つて、漸く下降期に入つた我が國資本主義は、それ自身延命の保持を維持するために生產工程の資本家的合理化と、生產費の縮少等の獨善的行爲を恣として跳梁させると共に、これに對するプロレタリアの鬪爭陣營は將に機熟して、果敢なる英雄的行爲によつて刻一刻無產階級解放運動のバリケードは強靱に築かれて行つた。これに伴つてプロレタリア藝術運動の一環たるプロレタリア映畫運動は一九二八年ナツプ協議會席上において、その鬪爭的方向を規定されると共に、その生產機關たるプロキノは、本年五月を期して、プロレタリア映畫の合法的公開を手始めに着々、ブルヂヨア映畫の崩壞とプロレタリア映畫の獲得のために鬪爭を付けてゐる。

これ等の客觀的情勢が展開されると共に、映畫觀客大衆の中にも、一つの意識的轉換が强要されるに至つた。一聯のフアンは、從來のブルヂヨア映畫に嫌惡を感じ、イデオロギツシユな内容を持つた映畫こそ、我々が支持すべき階級的任務であるといふ、左翼フアン的なセンチメンタリズムから、プロキノの合法映畫に、我か意を得た如く隨喜し、商業主義的撮影所から生產される民主々義映畫を、宛ら眞正なるプロレタリア映畫の如く誤認し映畫資本家の老猾なる商才と階級的フアシヨの術中に陥落してしまふのである。

そして、他の一群は、明かに土崑の如く生活權を喪失してしまひ、ナンセンスとエロテイシズムに解消することによつて、鬪爭から浴びてゐる資本の攻勢、しかも、封建的なエゴイズムでは如何にしても除去出來ない不法壓迫を、より合目的なソリダリテイによつて解決することを意識的に忌避して、瞬間的な享樂（それがナンセンスと原始的な本能を強調してゐるか、エロといひ、ナンセンスといひ、原始的な直情的な感情誘發に過ぎない）に脱兎の如く[illegible]してゐるのである。

一時、非常な人氣があつた坂妻映畫も昔日のおもかげがなく、右太衞門、長二郎はいふに足りぬ現在、獨り、映畫フアンの娛樂的對象となつてゐるものは、ナンセンス映畫、エロ映畫に他ならない。映畫ヂヤーナリズムが映畫フアン大衆の動搖を機先的に制して、娛樂消費的意慾を誘發することは資本家的に肝要であるが、一面において、斷呼として反動精神に結びつけて置くことは、映畫資本家にとつて、二重の階級的役割なのである。

松竹蒲田がいはゆる「健康なる映畫」をモツトーとして、すこぶる健康ならざるエロ映畫、ナンセンス映畫を濫作してゐるが「愛して頂戴ね」「おごつて頂戴ね」「朗らか過ぎてうれしいわ」式の催眠映畫か、何時まで商品といふ形式で存在を續けられて行くか。

小市民階級が小市民的映畫をボイコツトして、當然の歸結であるプロレタリア映畫をプロレタリアと共に支持擁護した場合、商業映畫は自ら墓穴を掘つて、ブルヂヨアだけが、生温かいサロンでアスパラカスを囓りながら卑近な性慾を激發さすだけである。

我々の當面の問題は觀客大衆を有目的に組織することである。

新刊紹介

◇貨幣錯覺（フイツシヤー著山本米治譯）豐富なる實證的研究によつて貨幣に對する錯覺を暴露してゐる、譯は無難なものといへやう（四六判二四九頁一圓五十錢日本評論社）

◇ロシア經濟史（佐野學著）佐野學全集の第五卷、ロシア經濟史としてもつともよきものゝ一であらう（四六判四九〇頁一圓五十錢牛込早稻田鶴卷町共生閣）

◇社會問題二十五講（カール・デイル原著山内、伊藤共譯）本書は三篇に分たれ第一篇は社會主義、共產主義及び無政府主義の本質を論じ第二篇において國際的社會主義運動及び第三篇では共產主義の國際的意義が詳述してある（二圓五十錢改造社）

◇不動產金融論（杉本正幸著）學者は實際を知らずの通弊を打破した快著、不動產金融に關する良書としては行き屆いたもので卷末に內外の參考書が揭げてある（菊判千三十三頁八圓巖松堂）

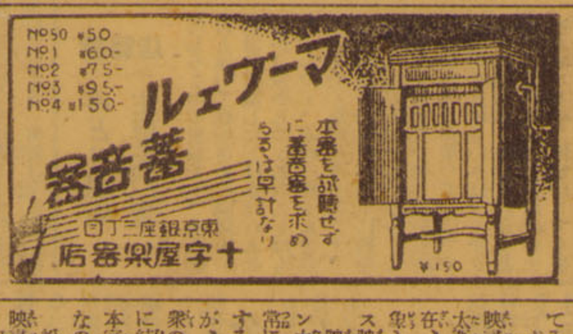
◇出版年鑑、東京堂の編で本年度中に我國に於て出版された書籍を各種に分けて簡單な紹介があり卷末には出版に關する規則及各發行所を知るのに正確なる索引が付いて、他に比を見ない好書である（神田區錦町三ノ一八、東京堂編價八十錢）

◇プロレタリア演劇、八月號、價三十五錢、京橋區木挽橋際國至玉ビル、新鋭社內、プロレタリア演劇編輯部發行

◇科學文化、八月號、價四十錢、麴町區飯田町六ノ十三、科學文化アカデミイ假本部發行

◇プロレタリヤ科學、八月號、價四十錢、市外中野町中野三九九、プロレタリア科學研究所發行

◇國際知識、八月號、價四十錢、麴町區丸ノ內二ノ十二、國際聯盟協會發行


蓄音器 マーヴェル
No.50 ¥50
No.1 ¥60-
No.2 ¥75-
No.3 ¥95-
No.4 ¥150-
本器を試聽せずに蓄音器を求めらるゝは早計なり
東京銀座三丁目
十字屋樂器店
¥150

美濃津の
靴と文具

御名前入
原稿用紙
千枚一、五〇ヨリ各種
見本進呈要二錢切手
府下板橋町中丸二四八二
スズヤ
振替東京七七〇一〇番

定食 壹圓
御料理一品附お替付（又ハ）日本料理二品清酒二本
御飯 おしんこ
大廣間あり
小石川森川町（六又上ル）
大國
電話小石川九二七

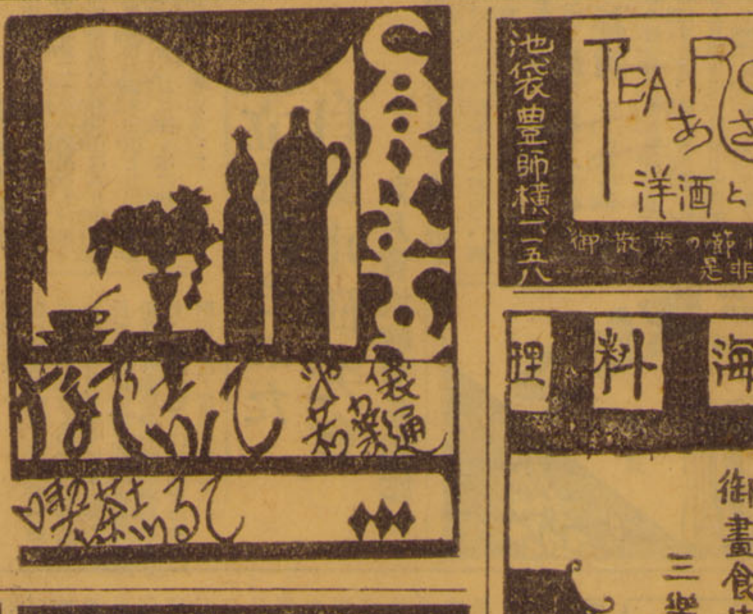
DITTMAR, BLN.-CHARLO
IN OSTERREICH FÜR HERAU
GEDRUCKT BEI RICHARD LA
CHISATO・1929.
喫茶 ランチ
エルテル
新宿・武藏野館前

喫茶と洋酒
ビクター
電氣蓄音機常備
丸太の家
スミレ
姉妹店
ミサカ
池袋豐師橫通

毎年流行を先驅する
ヨシノヤの靴
ヨシノヤ靴店
銀座松坂屋前

TEA ROOM あざみ
洋酒と喫茶
池袋豐師橫一一五八
御散歩の節は是非どうぞ

永藤のパン
白パン並型 拾錢
白パン大型 拾四錢
黑パン一型 貳拾錢
葡萄パン型 貳拾六錢
ケイク一個 七錢
上野公園前 永藤パン店
坂本三丁目 永藤同店
淺草北三筋町 永藤賣場
丸ビル二階 永藤賣場


池袋名物通
喫茶まるし

上海料理
御晝食は三樂で
電大塚3260
三樂
師範前通り

暑中御見舞
皆樣の
マルヤ

支那料理
銘酒 褒紋正宗
支那酒各種
菊水
豐島師範際
電大塚三〇八五

芳香うがひ料
ライオン水歯磨
⦿外出歸りに ⦿夜寢る前に
⦿スポーツの後に ⦿食事の後に
⦿應接の時に ⦿訪問の時に
この水歯磨の二三滴を、コツプ一杯の清水のなかへ落し、うがひをすれば、口中の隅々まで清潔になり、芳香が深ひ、氣分の晴々とすること譬へようもありません。口中より入る諸種の病氣の豫防には此上ない物で御座います。
本舖 株式會社 小林商店
LIQUID DENTIFRICE LION

登山・旅行に因る
足の疲れ・肩凝り・筋痛に……
少量を擦り込みをけば休息又は睡眠中によく滲透して作用し、鬱血を消散し、疲勞を去り、翌日は再び愉快なる運動の繼續を可能ならしむ。
鎮痛劑 サロメチール
一円・二円五十錢、藥店にあり
發賣…大阪 田邊商店

この味・この一杯
エビスビヤホール
池袋驛東口前

暑中御見舞
正門前
立教堂

BAR
TEA ROOM
RESTUARANT
丸ノ内ハウス
CAFE FUJI
二不
丁喫茶園

ドラゴン
池袋仲町
麻雀と王
龍王荘